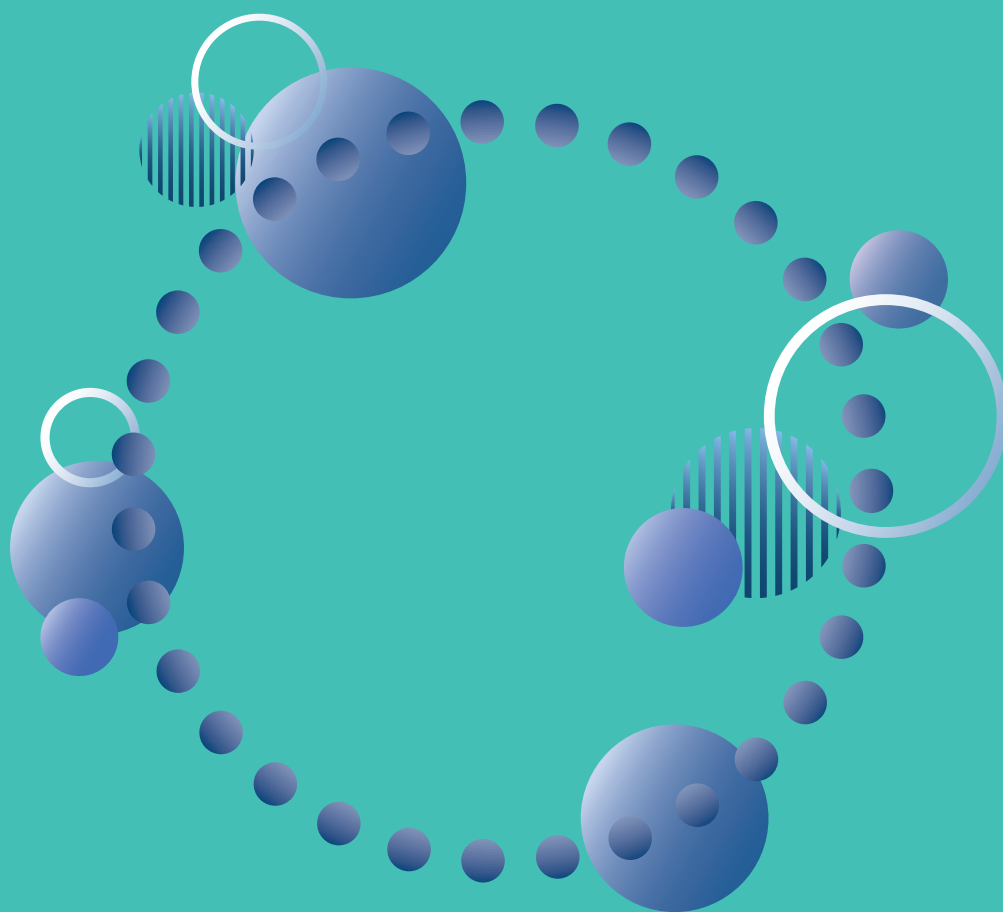


令和8年度 入学生

共通教育履修案内



令和8年4月

 鹿児島大学共通教育センター

令和8年度（2026年度）共通教育行事予定表

授業日（第1ターム、第3ターム）

授業日（第2ターム、第4ターム）

月	曜日							行 事
	日	月	火	水	木	金	土	
R8年 2026年				1	2	3	4	1日(水) 既修得単位認定申請
	5	6	7	8	9	10	11	1日(水) ~20日(月) 技能審査(外国語技能検定試験) 合格者等の認定申請
	12	13	14	15	16	17	18	3日(金) ~4日(土) 新入生の履修申請(前期:1T、2T、1T~2T) ※一部の集中講義は別途案内
	19	20	21	22	23	24	25	7日(火) 入学式
	26	27	28	29	30			7日(火) 午前:抽選もれ科目の発表 午後:履修申請(前期:1T、2T、1T~2T) 2回目
4								7日(火) 教室発表
								8日(水) 授業開始(前期)
								15日(水) ~16日(木) 履修申請(前期:1T、2T、1T~2T) 3回目
						1	2	1日(金) 水曜日の振替授業
	3	4	5	6	7	8	9	7日(木) 4月17日以降の履修科目取消し申請期限(前期)
5	10	11	12	13	14	15	16	28日(木) 予備日
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
6		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
7				1	2	3	4	1日(水) ~7日(火) 既修得単位認定申請
	5	6	7	8	9	10	11	22日(水) 月曜日の振替授業
	12	13	14	15	16	17	18	30日(木) 予備日
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
8							1	7日(金) 試験予備日
	2	3	4	5	6	7	8	8日(土) ~9月30日(水) 夏季休業(集中講義あり)
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
9				1	2	3	4	2日(水) 成績発表(前期:1T、2T、1T~2T)
	6	7	8	9	10	11	12	2日(水) ~9日(水) 成績開示(異議申し立て) 期間 ※9月卒業生と進級判定に関わる人は9月4日(金) まで
	13	14	15	16	17	18	19	3日(木) ~9日(水) 科目等履修生の願書受付(後期)
	20	21	22	23	24	25	26	16日(水) ~17日(木) 履修申請(後期:3T、4T、3T~4T) ※一部の集中講義は別途案内
	27	28	29	30				24日(木) 抽選もれ科目の発表、履修申請(後期:3T、4T、3T~4T) 2回目
10					1	2	3	30日(水) 卒業式(9月卒業生)
	4	5	6	7	8	9	10	1日(木) 授業開始(後期)
	11	12	13	14	15	16	17	1日(木) ~20日(火) 技能審査(外国語技能検定試験) 合格者等の認定申請
	18	19	20	21	22	23	24	8日(木) ~9日(金) 履修申請(後期:3T、4T、3T~4T) 3回目
	25	26	27	28	29	30	31	15日(木) 月曜日の振替授業
11								29日(木) 10月9日以降の履修科目取消し申請期限(後期)
	1	2	3	4	5	6	7	5日(木) 火曜日の振替授業
	8	9	10	11	12	13	14	13日(金) ~16日(月) 終日休講(大学祭)
	15	16	17	18	19	20	21	15日(日) 鹿児島大学記念日
	22	23	24	25	26	27	28	17日(火) 予備日(学校推薦型選抜I実施日)
12	29	30						25日(水) 月曜日の振替授業
				1	2	3	4	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
R9年 2027年	27	28	29	30	31			
						1	2	15日(金) 終日休講(窓口休業) 大学入学共通テスト会場設営
	3	4	5	6	7	8	9	16日(土) ~17日(日) 大学入学共通テスト
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
1	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
		1	2	3	4	5	6	2日(火) 予備日
	7	8	9	10	11	12	13	10日(水) 試験予備日
	14	15	16	17	18	19	20	22日(月) 成績発表(後期:3T、4T、3T~4T)
2	21	22	23	24	25	26	27	22日(月) ~3月1日(月) 成績開示(異議申し立て) 期間 ※卒業・進級判定に関わる人は2月25日(木) まで
	28							25日(木) ~26日(金) 個別試験(前期日程)
		1	2	3	4	5	6	1日(月) ~5日(金) 科目等履修生の願書受付(前期)
	7	8	9	10	11	12	13	12日(金) 個別試験(後期日程)
3	14	15	16	17	18	19	20	16日(火) ~17日(水) 履修申請(次年度前期:1T、2T、1T~2T) ※一部の集中講義は別途案内
	21	22	23	24	25	26	27	25日(木) 卒業式
	28	29	30	31				

※1 行事日程が変更された場合は、掲示板等でお知らせします。

※2 休講に伴い授業時間数が不足する場合は、原則として予備日に補講を行います。自然災害等により予備日が不足する場合は、各ターム7回目の6時限、土日祝日に補講を行う場合もあります。

※3 各タームの週1コマ授業(1単位科目)は、各タームの最終日を授業45分、期末試験45分とします。

※4 各タームの週2コマ授業(2単位科目)は、各タームの最終日を期末試験日とします。

※5 第1~2ターム、第3~4タームの週1コマ授業(2単位科目)は、第2ターム、第4タームの最終日を期末試験日とします。

目 次

	頁
I 共通教育の理念と教育目標 -----	1
II 共通教育の教育課程編成・実施の方針 -----	2
〔1〕カリキュラム・ポリシー	2
〔2〕各科目群における教育の目的	2
〔3〕個別最適化科目	3
〔4〕基盤ルーブリック	4
〔5〕カリキュラム・ツリー	5
III 授業を受ける前に知っておくこと -----	6
〔1〕学年・学期・4ターム制・授業時間	6
1 学年	6
2 学期	6
3 4ターム制	6
4 授業時間	6
〔2〕学籍番号と学部別クラス編成	6
〔3〕授業方法に応じた学修時間	8
〔4〕授業中のマナーについて	8
〔5〕共通教育に関する連絡	8
IV 共通教育科目の履修基準 -----	10
〔1〕卒業要件単位数	10
〔2〕各期の履修申請単位数の上限設定	11
〔3〕グレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度	12
V 共通教育科目の概要 -----	14
履修課程表（開講科目一覧）	15
○初年次教育科目群-----	21
〔1〕学び合いの技法	21
〔2〕学術レポートの基礎	21
〔3〕体育・健康科学	22
〔4〕情報活用	23
○学際教育科目群-----	24
〔1〕大学と地域	24
〔2〕地域志向	24
〔3〕発展・実践	24
○グローバル教育科目群-----	25
〔1〕英語	25
〔2〕初修外国語	27
〔3〕国際教養	29
○自然科学科目群-----	30
〔1〕教養自然科学	30
〔2〕基礎自然科学	30
○人文社会科学科目群-----	32

〔1〕 教養人文社会科学	3 2
VI 外国人留学生のための科目の概要 -----	3 3
〔1〕 日本語	3 3
〔2〕 日本事情	3 3
VII 履修手続きをする前に知っておくこと -----	3 6
〔1〕 入学前に修得した単位の認定	3 6
〔2〕 技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定	3 6
〔3〕 教員免許状の取得	3 6
〔4〕 学芸員資格の取得	3 7
VIII 履修手続 -----	3 8
〔1〕 シラバス	3 8
〔2〕 履修計画	3 8
〔3〕 履修申請	3 8
〔4〕 履修手続きの流れ	3 9
IX 共通教育に関する授業アンケート -----	4 3
X 試験及び単位認定 -----	4 4
〔1〕 試験	4 4
〔2〕 単位認定とGPA制度	4 4
〔3〕 追試験	4 6
〔4〕 再試験	4 6
〔5〕 受験上の注意	4 6
〔6〕 不正行為の措置	4 7
〔7〕 成績評価等に対する開示請求と異議申立て	4 7
〔8〕 単位互換制度	4 8
XI 学生生活 -----	5 0
〔1〕 自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱い	5 0
〔2〕 学生生活上の相談	5 2
1 修学及び学生生活一般	5 2
2 担任教員等	5 3
〔3〕 諸願・届及び注意事項	5 6
1 学生の身分異動等	5 6
2 証明書などの発行	5 6
3 車両等による通学	5 7
4 健康の維持	5 7
5 共通教育棟の施設の利用（PCの利用など）	5 8
6 その他	5 8
XII 転学部について -----	6 0
【規則一覧】	
○ 鹿児島大学共通教育科目履修規則	6 1
○ 鹿児島大学共通教育科目試験等規則	6 6
○ 鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則	6 8
○ 鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則	6 9
○ 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群における技能審査合格者等の単位認定規則	7 2

○ 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群に係る技能審査等の認定基準に関する 申合せ	74
【その他の表・図】	78
・ 鹿児島大学配置図（郡元キャンパス）	78
・ 鹿児島大学共通教育棟配置図（共通教育棟講義室等略図）	79
【共通教育科目時間割表】	81
・ 履修申請表（ワークシート）	87

※共同獣医学科の共通教育に関する詳細は、共同獣医学科共通教育履修案内に記載してあります。

I 共通教育の理念と教育目標

共通教育は、学部や専門分野を問わず全学の学生を対象とし、幅広い教養と汎用的能力の育成を目的とする学部教育の共通枠組みです。共通教育では、鹿児島大学の教育目標に基づき、以下の教育目標を定めています。

鹿児島大学教育目標

前文

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

- 〔1〕 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
- 〔2〕 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
- 〔3〕 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
- 〔4〕 グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

共通教育の教育目標

共通教育は、専門教育と有機的・体系的に連携しながら、幅広い教養と豊かな人間性を培い、社会の発展のために貢献できる人材を育成することを目的とする。この目的の達成のために以下の教育目標を掲げる。

- 〔1〕 自己管理能力を高め、自律的・主体的に学ぶ姿勢を育成する。
- 〔2〕 社会的責任を理解し、創造的で倫理的な方法で地域社会の諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
- 〔3〕 国際社会に対応できるコミュニケーション能力の基礎や、多文化共生および異文化理解のための基本的知識を身につける。
- 〔4〕 総合的な視野から専門分野を理解するための基礎的な知識・技能を習得する。

Ⅱ 共通教育の教育課程編成・実施の方針

共通教育のカリキュラムは、以下のカリキュラム・ポリシーに基づき、5つの科目群で編成されています。また、学生が自らの学修到達度や興味・関心に応じて学修計画を作成し、主体的・自律的学びを促進することを目的として、個別最適化科目を設定しています。

〔1〕カリキュラム・ポリシー

1. 専門課程につながる基礎的な知識やスキルを身につけるとともに、幅広い教養を培う教育課程の編成
 - (1) 自身の成長のため、主体的な学修に必要な態度と能力を育むよう、初年次教育科目群を配置します。
 - (2) 様々な分野の人々と協働し、創造的で倫理的な方法で社会の課題を解決する能力を高めるよう、学際教育科目群を配置します。
 - (3) 多文化共生および異文化理解のための基本的知識とコミュニケーション能力の基礎を育むよう、グローバル教育科目群を配置します。
 - (4) 幅広い学問分野の基礎的な素養を身につけられるよう、自然科学科目群と人文社会科学科目群を配置します。
2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施
アクティブ・ラーニングと協働学習を中心として、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。学生の主体的な学びを支援するため、多様な選択科目を提供し、自身の興味に応じて柔軟にカリキュラムを組める学修環境を提供します。
3. 厳格な成績評価の実現
各科目において、教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

〔2〕各科目群における教育の目的

初年次教育科目群

大学生活や大学での学びを円滑にすすめるために、自己管理能力を高めるとともに、学修の基盤となる言語能力、情報活用能力、論理的思考力の基礎を養います。

学際教育科目群

現代社会の諸課題を幅広い視野で多角的に理解・分析し、他者と協働しながら問題解決に取り組む能力を養います。また、実践的な経験にもとづく学びを通して、社会に貢献する意識や態度を育てることを目的とします。

グローバル教育科目群

国際社会に対応できるコミュニケーション能力の基礎や、多文化共生および異文化理解のための基本的知識を修得することを目的とします。異なる価値観や世界観を理解することで、自国の文化を相対的に捉え、国際社会の課題解決に必要な論理的思考力や分析力、多面的な視点を養います。

自然科学科目群

自然科学に関する基礎的な知識と科学的リテラシーを身につけ、科学的視点から現代社会の課題を理解し、幅広い科学的視野に基づいた問題解決能力を養います。さらに、科学技術と社会との関わりを理解し、主体的に考え行動する力を身につけることを目的とします。

人文社会科学科目群

人間・文化・社会に関わる学問分野の基礎的な知識や教養を幅広く身につけることによって、世界や社会構造の大きな変化、テクノロジーの著しい進化・発展とそこから生じる現代的諸課題解決に必要な能力の基礎を修得することを目的とします。

〔3〕個別最適化科目

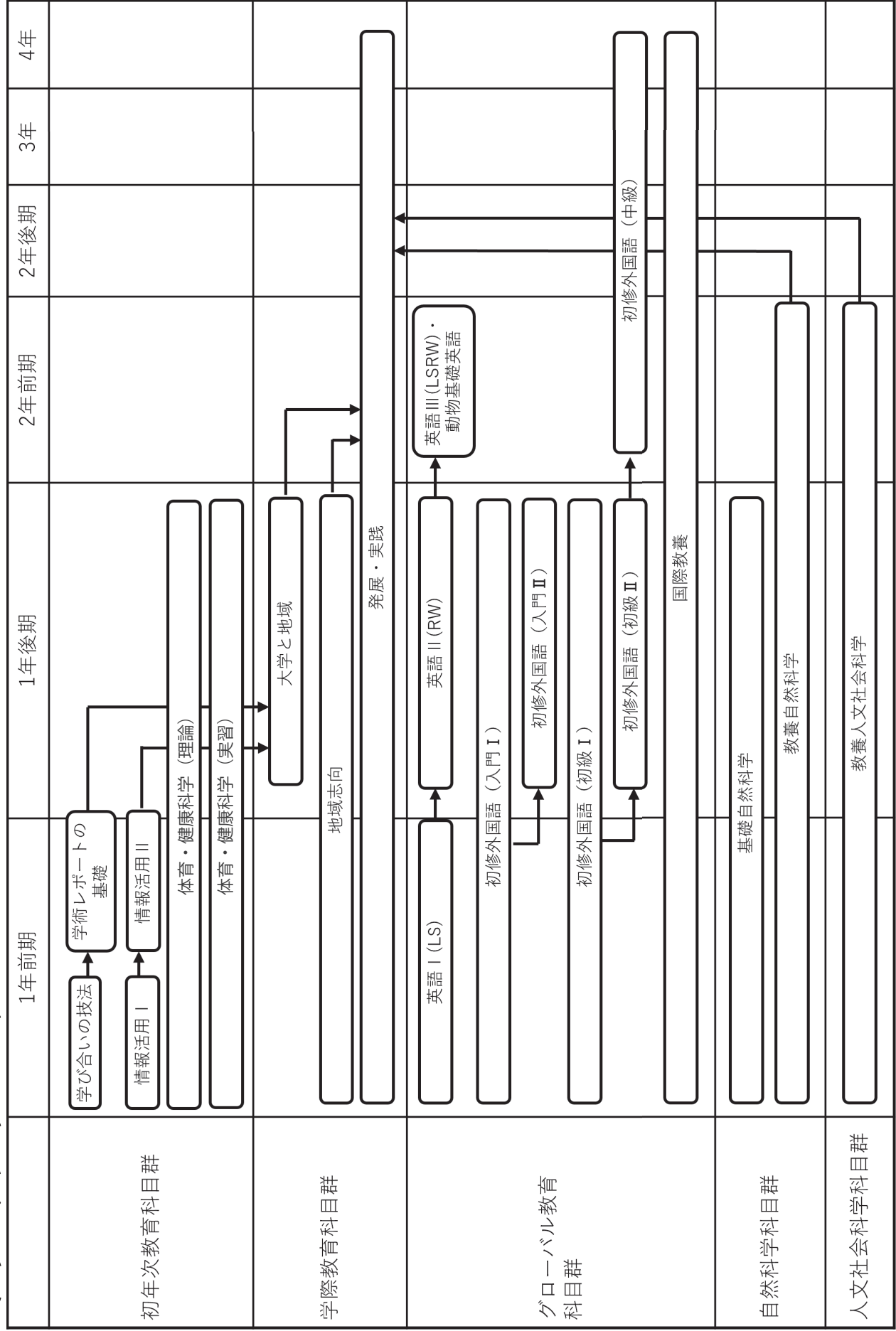
個別最適化科目は、科目群の区分にとらわれず、全ての選択必修科目の中から自由に選べる科目です。ただし、学部が卒業に必要であると指定した選択必修科目（学部指定）の科目は個別最適化科目に含まれませんので注意してください。自身の学習到達度や興味・関心に応じて科目を履修し、修得した単位は各学部の卒業要件に算入されます。基盤ルーブリック※に照らし合わせた自己評価などを参照し、自身の学びに必要と考えられる科目を選択してください。

※基盤ルーブリックとは、本学の学生が卒業までに身につけるべき4つの能力を評価するために示された評価基準のことです。この基準に基づいて入学から卒業までの学習の成果や達成度を評価したディプロマ・サプリメントが各学生に発行されます。

[4] 基盤ルーブリック

尺度				
	入学時	修業年限の前半修了時	卒業時 (本学の目標)	発展的な目標
1. 自身の成長のために学び続ける力	自身の成長のために学習しようという意欲がある	自身の状況を省察して課題を発見することはできる	自身の状況を省察して課題を発見し、行動を改善することができる	周囲や社会状況に対する的確な判断に基づいて自身の状況を省察して課題を発見し、自身や自身を取り巻く状況を改善することができる
	自身の成長のために適切な学習方法で学ぶ必要があると認識がある	目的・目標に応じた方法で学ぶことができる	自身に必要な知識や技術を習得するために適切な方法で学ぶことができる	自ら目標を設定し、それに応じた方法で学び続けることができる
2. 多様性を理解し、重視したコミュニケーションをする力	相手や状況に応じたコミュニケーションの必要性を認識している	学習場面において、学生間や教員との間で適切なコミュニケーションができる	自身が置かれた状況において、相手や状況に応じたコミュニケーションができる	どのような場面においても、多様性を理解、尊重したコミュニケーションができる
	対話や文章を通じたコミュニケーションにおける倫理の重要性を認識している	対話や文章を通じたコミュニケーションに関する倫理について説明することができる	倫理に則った対話や文章を通じたコミュニケーションができる	自身のコミュニケーションが倫理の観点から適切であるかを問い直しつつ、対話や文章を通じたコミュニケーションをより適切に行うことができる
3. 地域／グローバル社会の一員として責任感を持って行動する力	他者との協働の必要性を理解し、それに関わる意欲がある	学習場面において、課題の解決のために学生間で協働できる	自分が置かれた状況を踏まえて、課題解決のために他者と協働できる	他者を尊重して協働し、多様性を活かした課題解決ができる
	地域／グローバル社会の一員であるとの自覚がある	社会の一員として求められる倫理・社会的規範に基づき行動の在り方について説明したり、議論したりできる	自分が置かれた状況を踏まえて、社会の一員として倫理・社会的規範に基づいて行動できる	自身の行動が倫理・社会的規範という観点から適切であるかを問い直しつつ、責任ある行動ができる
4. 論理的に考え、多様な情報を活かす力	地域社会の課題の解決に貢献する意義や必要性を認識している	地域社会の課題の発見や与えられた課題に対する解決策の構想・提案ができる	専門的見地から地域社会の課題を発見し、その発展に貢献し得る自らの専門性を踏まえた方策を構想、提案できる	地域社会の課題を発見し、その発展に貢献する方策を構想・提案し、解決に向けて自律的に行動できる
	情報の多様性やそれらに対する論理的思考の意義を認識している	学習場面において、多様な情報を批判的に検証・精査しながら学ぶことができる	多様な情報を批判的に検証・精査して取捨選択し、状況に応じて活用できる	多様な情報を批判的に検証・精査し、論理的思考を通じて新たな知の創出に活用できる
	学術的方法の修得に対する意欲がある	学習場面に応じて、適切な学術的方法について説明できる	適切な学術的方法に基づき、新たな知の探究・創出に貢献できる	既存の学術的方法を批判的に問い直し、新たな知を探究・創出できる

〔5〕カリキュラム・ツリー



Ⅲ 授業を受ける前に知っておくこと

〔1〕 学年・学期・4ターム制・授業時間

1 学年

4月1日に始まり翌年3月31日に終わる1年間を学年と定めています。(学則第23条)
入学後の進行年数に応じて、1年次、2年次、・・・と呼びます。

2 学期

学年を、前期、後期の2学期に分けます。(学則第24条)

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

また、入学年次から各学期を積算して、1年次前期を1期、後期を2期、2年次前期を3期、・・・とも呼びます。

3 4ターム制

前期と後期の各授業期間を、さらに前半と後半に分けます。(第1～4ターム)

多くの授業は、第1～2ターム、第3～4タームの期間で実施しますが、1つのタームのみの期間で完結する授業もあります。

<前期> 4月中旬～6月上旬「第1ターム」、6月中旬～8月上旬「第2ターム」

<後期> 10月～11月下旬「第3ターム」、12月～2月上旬「第4ターム」

4 授業時間

本学における授業は、90分を単位として、下記の時限、時間区分によって行われます。

(なお、桜ヶ丘キャンパスは、各時限開始時間が郡元キャンパスの10分遅れです。)

時限	1	2	3	4	5
時間	8:50～ 10:20	10:30～ 12:00	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

〔2〕 学籍番号と学部別クラス編成

授業は、原則として授業時間割で示される範囲内で授業クラスを編成して行います。

学部別クラス編成は、次頁に記載されているとおりですので、学部・学科等のコード番号を確認してください。また、学部・学科等のコード番号は、学生証に記載されている学籍番号でも確認できます。

みなさんの学籍番号は、以下のように10桁の数値から成り立っています。

○○ ○○ ○○ ○○○ ○

学部 入学年度 学科等 番号 チェックデジット

なお、入学年度は、西暦の下2桁の数値です。また、チェックデジットとは電算処理上必要なものです。

クラス編成

学部[コード]	学科等名称[学籍番号の学科等コード2桁] (学籍番号の番号3桁)	組
法文学部 [11]	法経社会学科(法学) [62]	1
	法経社会学科(地域社会・経済) [63]	2
	人文学科(多元地域文化) [64]	3
	人文学科(心理学) [65]	
教育学部 [07]	学校教育教員養成課程 初等教育コース一般[41]	1
	学校教育教員養成課程 初等教育コース音楽[42]	
	学校教育教員養成課程 初等教育コース保健体育[43]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース国語[68]	2
	学校教育教員養成課程 中等教育コース社会[69]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース英語[74]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース数学[70]	3
	学校教育教員養成課程 中等教育コース理科[71]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース技術[72]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース家政[73]	4
	学校教育教員養成課程 中等教育コース音楽[44]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース美術[45]	
	学校教育教員養成課程 中等教育コース保健体育[46]	
	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース[63]	
理学部 [22]	理学科[60] (001~095)	1
	理学科[60] (096~)	2
医学部 [42]	医学科[10]	1
	保健学科(看護学専攻) [21]	2
	保健学科(理学療法学専攻) [22]	
	保健学科(作業療法学専攻) [23]	
歯学部 [43]	歯学科[10]	1
工学部 [25]	先進工学科(機械工学プログラム) [32]	1
	先進工学科(電気電子工学プログラム) [33]	2
	先進工学科(海洋土木工学プログラム) [34]	3
	先進工学科(化学工学プログラム) [35]	4
	先進工学科(化学生命工学プログラム) [36]	4
	先進工学科(情報・生体工学プログラム) [37]	2
	先進工学科(工学系共通クラス) [38]	5
	建築学科(建築学プログラム) [40]	3
農学部 [34]	農学科[50]	1
		2
		3
		4
	国際食料資源学特別コース[41]	水産学部2組と混合
水産学部 [38]	水産学科[50] (001~072)	1
	水産学科[50] (073~)	2
	国際食料資源学特別コース[70]	
共同獣医学部 [36]	共同獣医学科[11]	1
	畜産学科[21]	2

〔3〕授業方法に応じた学修時間

授業は、講義、演習、実習及び実験のいずれかの方法により行います。

『講義』：知識の理解等のために、教員の解説を中心に学ぶことを主とする授業。

『演習』：学修した知識をさらに深め考察するために、学生が自ら調査・研究し、発表や討議を行うことを主とする授業。

『実習』：知識や手技・技術を、実際の現場や実物を用いて習得することを主とする授業。

『実験』：理論や仮説を検証するために、観察や測定を伴う実験を実際に経験しながら学ぶ授業。

授業科目の学修を数量的に表すために「単位」という概念を用いています。単位の計算方法は、1単位あたり45時間の学修（授業内・授業外学修を含む）を標準としています。共通教育においては、授業方法に応じ、1単位あたりに必要な学修時間数を定めています。授業時間数は90分を2時間として計算します。

例えば、1単位あたりの授業時間数が15時間と定められている科目で、2単位の場合は、90分（2時間換算）×15回（計30時間）の授業が行われます。詳細については、シラバスを確認するようにしてください。

〔4〕授業中のマナーについて

共通教育センターでは、学生の皆さんが勉学に励むことができるよう、快適な学習環境の維持に努めています。授業中の以下の行為については、真面目に授業を受けている学生や、授業を担当する教員にとって大変迷惑となります。快適な授業環境を保つために授業中のマナーを守るようお願いいたします。

（1）授業の撮影・録画・録音について

特別な理由がある場合を除き、授業の撮影・録画・録音は原則禁止です。必要な場合は必ず授業担当教員の許可を得てください。

（特別な理由の一例）

障害等を理由に合理的配慮を希望される方は、修学支援室（障害学生支援センター）にて、一括して修学支援を申し出ることが可能です。

（2）スマートフォン（携帯電話）などの使用

授業担当教員の指示により、もしくは授業担当教員の許可を得て授業のために使用する場合を除き、これらの機器を使用することは原則禁止です。

〔5〕共通教育に関する連絡

共通教育の主な連絡事項（行事予定、履修、成績、集中講義、学芸員資格科目、学部からの案内等）は、原則として共通教育掲示板に掲示します。登校の都度、必ず掲示板をみる習慣を身につけ、掲示の見落としによる不都合が生じないようにしてください。

また、鹿児島大学ホームページ、電子メール、manabaでも通知・連絡を行いますので、定期的に確認をしてください。

(1) 共通教育掲示板

共通教育棟 1 号館 1 階南側 (p. 79 の「鹿児島大学共通教育棟配置図」を参照)

(2) 鹿児島大学ホームページ

- ① 「在学生」の「インフォメーション」と、「教育・学生生活」の「お知らせ」に最新のお知らせを掲載しています。
- ② 「教育・学生生活」の「共通教育」に開設授業科目、行事予定、授業が行われる教室等の情報を掲載しています。

(3) 電子メール

入学時に全員にメールアドレス (以下、「kadai メール」) が配付されます。このメールは大学との連絡に使用する大切なメールです。休講や補講などの連絡もこの kadai メール宛てに通知されます。

(4) manaba

manaba の各コースに、授業等に関するお知らせを掲載しています。

IV 共通教育科目の履修基準

〔1〕卒業要件単位数

鹿児島大学を卒業するには、専門教育科目だけでなく、「鹿児島大学共通教育科目履修規則」第7条の規定（p. 61参照）により、各学部・学科等の共通教育科目の卒業要件単位数を修得しなければなりません（p. 13参照。ただし、外国人留学生はp. 35を参照）。

卒業要件単位数は、各科目あるいは全体として、最低何単位以上を修得しなければならないという履修基準を定めたもので、規則のなかではもっとも重要な事項です。所属する学部・学科等の履修基準を十分に確かめてください。

注意

- （1）学部・学科等によって、同じ授業科目であっても卒業要件単位数に算入される場合と算入されない場合がありますので注意してください。
- （2）履修申請に際しては、履修申請単位数の上限設定があるので、次の「〔2〕各期の履修申請単位数の上限設定」をよく読んでください。

よくある質問

卒業要件単位数に算入されない場合とは？

- ①グローバル教育科目の英語で指定（p. 26）された以外の英語科目を履修した場合です。
- ②基礎自然科学の科目で指定（p. 31）された以外の科目を履修した場合です。

〔2〕各期の履修申請単位数の上限設定

授業科目の1単位は、授業時間外の予習、復習に要する時間（Ⅲ－〔3〕「授業方法に応じた学修時間」p. 8参照）を考慮に入れて定められていることにより、下表のように、学部毎に、各期の履修申請単位数の上限を設定しています。

学 部	履修申請単位数の上限	学 部	履修申請単位数の上限
法 文 学 部	24単位	教 育 学 部	24単位
理 学 部	24単位	医学部医学科	30単位
		医学部保健学科	24単位
歯 学 部	30単位	工 学 部	20単位
農 学 部	24単位	水 産 学 部	24単位
共同獣医学部共同獣医学科	50単位（年間）		
共同獣医学部畜産学科	24単位		

表中の履修申請単位数とは、各期における共通教育科目及び専門教育科目を含めた総履修申請単位数を意味し、その上限数を表しています。ただし、学部によって、成績優秀者等について、上限を緩和する措置があります。緩和条件は各学部で異なりますので、詳細は所属学部の履修要項等で確認してください。

注意

- (1) 履修申請単位数の上限枠に含まれない（対象外）科目などは学部により異なりますので、詳細は所属学部の履修要項や学部オリエンテーション等で確認してください。
- (2) 共通教育において夏季休業中等に行われる集中講義は、すべての学部生に対して履修申請単位数の上限枠に含まれません。なお、これらの履修申請は、他の科目とは別の時期に行われることがあります。
- (3) 教育学部、理学部、工学部、農学部、水産学部の外国人留学生に対しては、日本語科目は履修申請単位数の上限枠に含まれません。

みなさんは所属学部の上限数を考慮に入れて履修計画を立てる必要があります。履修申請単位数の上限数に対して、共通教育科目及び専門教育科目の履修申請単位数の総合計が上限数を超えないように申請しなければなりません。共通教育科目と専門教育科目のすべての履修申請が終了した段階で、学務Webシステムで閲覧・確認し、もしも履修申請単位数合計が上限数を超過していた場合には、所定の手続きで履修申請科目の一部を取り消してください。万が一、この手続きをしなかった場合には、当期の成績処理が行えなくなるので、必ず取り消しを行ってください。履修手続の詳細については、「Ⅷ 履修手続」p. 38を参照してください。

履修単位数の上限を設定している理由は、授業時間とともに予習・復習時間も必要としているからです。受講生がそのように有効に時間を使えば、必然的に受講科目数に限界が生じます。したがって、履修申請が確定した科目の単位を確実に修得（試験等に合格）しなければ4（6）年間で卒業要件を満たせず、卒業延期になる場合もあります。このことから、たとえ履修申請した科目が選択科目であっても、受講が確定した科目については、必修科目と同じ意味を持ちますので、必ず合格するように勉学に努めてください。

〔3〕 グレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度

共通教育科目の成績の評価は、GPA制度により行います。従来、大学での学修は単位が修得できたかどうか重要視されてきましたが、この制度は、履修した科目の理解度の平均値を示すことにより、みなさんが自分の学習成果について自己点検できる利点があります。また、共通教育センターでは、主としてGPAをもとに成績優秀者の表彰と成績不振者に対する助言・指導を行い、勉学意欲の向上や生活環境の改善に目配りをします。

さらに、授業の実施結果を共通教育科目の厳格な成績評価や授業運営の点検にも利用し、授業改善に役立てるとともに、留年対策などにも役立てていきます。

GPA制度に関する詳細は、「X 試験及び単位認定」 p. 44を参照してください。

【GPAの具体例】

学年：1年前期

〇〇学部 〇〇学科

000000011 共通 太郎

学業成績表の例示

授業科目名	評点	評価	GP	単位	
キャリアデザイン	95	A	4	2	評価のA～Fの総単位数 Aは、3単位 Bは、9単位 Cは、8単位 Dは、3単位 Fは、2単位
体育・健康科学実習	90	A	4	1	
英語 I (LS)	88	B	3	2	
日本国憲法	85	B	3	2	
学び合いの技法	83	B	3	1	
学術レポートの基礎	82	B	3	1	
保健学入門	80	B	3	2	
倫理学入門	78	C	2	2	
情報活用 I	75	C	2	1	
初級独語 I	74	C	2	2	
南太平洋多島域	70	C	2	2	
体育・健康科学理論	65	D	1	1	
情報活用 II	63	D	1	1	
基礎統計学入門	50	F	0	2	

1年前期のGPAは、上表のGPと単位数により、以下のように計算します。

$$\frac{4 \times 3_A + 3 \times 8_B + 2 \times 7_C + 1 \times 2_D + 0 \times 2_F}{3_A + 8_B + 7_C + 2_D + 2_F} = 2.36$$

共通太郎君のGPAは、2.36（小数点以下第3位を四捨五入）になります。もし、A評価のキャリアデザインが評点0～59点でF評価であったら、GPは4から0に下がるため、再計算するとGPAは2.00に減少します。GPAは4から0までの間で、学習達成度を測る数値となります。GPAを4に近付けるように頑張りましょう。

なお、履修登録した全ての科目が計算の対象になり、履修を放棄するとF評価（GP：0）になりGPAは下がります。履修を放棄する場合は、取消期間内に必ず履修登録取消の手続きを行ってください。ただし、単位認定科目及び他大学等単位互換科目の成績評価はP（認定）で表し、GPA算出の対象外になります。

令和8年度入学生 共通教育科目卒業要件単位数(一般学生)(規則第7条関係)

科目枠組		初年次教育科目						学際教育科目			グローバル教育科目			自然科学科目		人文社会科学科目		個別最適化科目 (注1)	合計単位数	
		必修						必修	選択必修		必修	選択必修		選択必修						
		学術基礎		体育・健康科学		情報活用			大学と地域	地域志向*		発展・実践*	英語	初修外国語		国際教養*	教養自然科学*			基礎自然科学
		学び合いの技法	学術レポートの基礎	理論	実習	情報活用I	情報活用II	【学部指定】			【選択】*			【学部指定】	【学部指定】					
学部学科																				
法文	法経社会学科	1	1	1	1	1	1	2	4	4	4	(注9)	4	-	-	4	2	30		
	人文学科	1	1	1	1	1	1	2	4	4	4	(注9)	4	-	-	4	2	30		
教育	学校教育教員養成課程	初等教育コース	1	1	1	1	1	1	2	2	6	2	2	4	-	2 (注2)	2	2	30	
		中等教育コース	1	1	1	1	1	1	2	2	6	2	2	4	-	2 (注2)	2	2	30	
		特別支援教育コース	1	1	1	1	1	1	2	2	6	2	2	4	-	2 (注2)	2	2	30	
理	理学科	1	1	1	1	1	1	2	4	6	-	2	4	-	-	4	2	30		
医	医学科	1	1	1	1	1	1	2	4	4	-	2	2	-	-	4	2	26		
	保健学科(看護)	1	1	1	1	1	1	2	2	4	-	2	4	-	-	4	2	26		
	保健学科(理学療法)	1	1	1	1	1	1	2	4	4	-	2	4	4 (注4)	-	4	2	32		
	保健学科(作業療法)	1	1	1	1	1	1	2	4	4	-	2	6	2 (注5)	-	4	2	32		
歯	歯学科	1	1	1	1	1	1	2	2	4	2 (注6)	2	4	-	-	4	2	28		
工	先進工学科	1	1	1	1	1	1	2	4	6	-	2	2	2 (注3)	-	4	2	30		
	建築学科	1	1	1	1	1	1	2	4	6	-	2	2	2 (注3)	-	4	2	30		
農	農学科	1	1	1	1	1	1	2	4	6	-	2	4	-	-	4	2	30		
	国際食料資源学特別コース	農学系サブ	1	1	1	1	1	1	2	2	6	-	4	2	2 (注3)	-	4	2	30	
水産系サブ		1	1	1	1	1	1	2	2	6	-	4	2	2 (注3)	-	4	2	30		
水産	水産学科	1	1	1	1	1	1	2	4	6	-	2	2	4 (注7)	-	2	2	30		
共同獣医	共同獣医学科	1	1	1	1	1	1	2	2	8	-	2	4 (注8)	-	-	2	2	28		
	畜産学科	1	1	1	1	1	1	2	2	6	-	4	4	-	-	4	2	30		

(注1) 個別最適化科目は、科目群によらず全ての選択必修科目「*」の中から自由に選択できるが、基盤ルーブリックに照らし合わせた自己評価に基づき、自分の学びに必要と考えられる科目を推奨する。

(注2) 日本国憲法(2単位)必修

(注3) 基礎統計学入門(2単位)必修

(注4) 基礎統計学入門(2単位)必修。基礎物理学入門(2単位)、基礎生物学入門(2単位)から1科目選択。ただし、物理学及び生物学に関しては受験時に選択しなかった科目を受講することが望ましい。

(注5) 基礎統計学入門、基礎数学入門、基礎物理学入門、基礎化学入門、基礎生物学入門の5科目から1科目選択

(注6) 初修外国語は独語又は仏語を修得する。

(注7) 基礎数学入門、基礎統計学入門を必修

(注8) 共同獣医学科は導入教育系科目として、生命倫理学、コミュニケーション論を必修

(注9) 法文学部は、グローバル教育科目群(選択必修)の卒業要件単位数は学部指定の初修外国語を含め4単位以上とする。

V 共通教育科目の概要

本学の共通教育は、「初年次教育科目群」、「学際教育科目群」、「グローバル教育科目群」、「自然科学科目群」、「人文社会科学科目群」の5つの科目群があり、それぞれ以下の小分類に分かれています。

共通教育の分類表

大分類	中分類	小分類
初年次教育科目群	必修	学術基礎
		体育・健康科学
		情報活用
学際教育科目群	必修	大学と地域
	選択必修	地域志向
		発展・実践
グローバル教育科目群	必修	英語
		日本語 (注1)
		日本事情 (注1)
	選択必修	初修外国語
		国際教養
自然科学科目群	選択必修	教養自然科学
		基礎自然科学
人文社会科学科目群	選択必修	教養人文社会科学
個別最適化科目	(注2)	
卒業要件外科目	卒業要件外科目	学芸員資格

(注1) 原則として、外国人留学生を対象とする。

(注2) 個別最適化科目は、科目群によらず学部指定を除く全ての選択必修科目の中から自由に選択できるが、基盤ルーブリックに照らし合わせた自己評価に基づき、自分の学びに必要なと考えられる科目を推奨する。

履修課程表（令和8年度開講科目一覧）

【必修科目】

初年次教育科目群

科目名	単位数	開講期 ターム	必修・ 選択必修
学び合いの技法	1	前期第1ターム	必修
学術レポートの基礎	1	前期第2ターム	必修
体育・健康科学理論	1	前期・後期	必修
体育・健康科学実習	1	前期・後期	必修
情報活用Ⅰ	1	前期第1ターム	必修
情報活用Ⅱ	1	前期第2ターム	必修

【共同獣医学部共同獣医学科】 初期教育科目

科目名	単位数	開講期 ターム	必修・ 選択必修
データ科学と社会Ⅰ	1	前期第1ターム	必修
データ科学と社会Ⅱ	1	前期第2ターム	必修

学際教育科目群

〔大学と地域〕

科目名	単位数	開講期	必修・ 選択必修
大学と地域	2	後期	必修

グローバル教育科目群

〔英語〕

科目名	単位数	前・後期	開講期	対象学年、学部・学科等
英語Ⅰ(LS)	2	前期	1期	1年次必修（共同獣医学科以外）
英語Ⅱ(RW)	2	後期	2期	1年次必修（共同獣医学科以外）
英語Ⅲ(LSRW)	2	前期	3期	2年次必修：教育、理、工、農、水産、農・水（国際食料資源）
動物基礎英語	2	前期	3期	2年次必修：共同獣医学部 畜産学科
英語Ⅰ	4	前期～後期	1期～2期	1年次必修：共同獣医学部 共同獣医学科
英語Ⅱ	4	前期～後期	3期～4期	2年次必修：共同獣医学部 共同獣医学科

〔日本語・日本事情〕 外国人留学生対象

科目名	単位数	前・後期	開講期 ターム
日本語Ⅰ	1	前期	1期
日本語Ⅱ	1	前期	1期
日本語Ⅲ	2	後期	2期第3ターム
日本語Ⅳ	2	後期	2期第4ターム
日本事情	2	前期	1期

【 選択必修科目 】

学際教育科目群

〔 地域志向 〕

科目名	単位数	開講期	対象学部・学年等
焼酎	2	前期	
地域コミュニティ論	2	前期	
方言コンテンツを作ろうⅠ	2	前期	
有機農業Ⅰ 新しい食と農のかたち	2	前期	
鹿児島探訪－文化－	2	前期	
地域環境論	2	前期	
いのちと地域を守る防災学Ⅰ	2	前期	
奄美の民俗文化	2	前期	
大学の研究成果を社会に運ぶ仕事	2	前期	
九州・沖縄学（歴史・文化）	2	前期・集中	
地域共創フィールドワーク	2	前期・集中	
かごしま課題解決型キャリア実習	2	前期・集中	
焼酎	2	後期	
地域リサーチ・スタートアップ	2	後期	
方言コンテンツを作ろうⅡ	2	後期	
自然環境保全と世界遺産	2	後期	
いのちと地域を守る防災学Ⅱ	2	後期	
奄美の民俗文化	2	後期	
奄美群島の自然と文化	2	後期	
九州・沖縄学（自然）	2	後期・集中	
離島へき地の One Health	2	後期・集中	2～4年

〔 発展・実践 〕

科目名	単位数	開講期	対象学部・学年等
キャリアデザイン	2	前期	
ヒトの産み育てを考える	2	前期	
金融リテラシーとアントレプレナーシップ	2	前期	
価値創造の場	2	前期	
自然学校へ行こう	2	前期	
農作業から始める 6次産業化 1	2	前期	
島のしくみ	2	前期・集中	
避難生活に備える	2	前期・集中	
鹿児島データサイエンス実践	2	前期・集中	
自然体験活動入門講座	2	前期・集中	
屋久島の環境文化Ⅱ－生き物－	2	前期・集中	
屋久島の環境文化Ⅲ－産業－	2	前期・集中	
経営学からみて実践する人材育成	2	前期・集中	
里山フィールドワーク入門	2	前期・集中	
農業実践	1	通年・集中	
キャリアデザイン	2	後期	
人生における出会いの意義と役割	2	後期	
社会にでる前に知っておきたい社会常識	2	後期	
ピアカウンセリング入門	2	後期	
「起業」－ビジネスの発見と創出	2	後期	
知的財産制度の基礎	2	後期	
自己理解・他者理解と障害理解	2	後期	
栽培技術実践実習	1	後期	
はじめてのデータサイエンス	2	後期	
屋久島の環境文化Ⅰ－植生－	2	後期・集中	
屋久島の環境文化Ⅳ－生活と文化－	2	後期・集中	
防災フィールドワーク	2	後期・集中	
農作業から始める 6次産業化 2	2	後期・集中	
データサイエンスとビジネスの提案	2	後期・集中	

グローバル教育科目群

〔初修外国語〕

科目名	単位数	開講期	対象学部等
初級独語Ⅰ	2	前期	学部指定
初級独語Ⅰ	2	前期	全学部
初級仏語Ⅰ	2	前期	学部指定
初級仏語Ⅰ	2	前期	全学部
初級仏語Ⅰ	2	通年	歯学部
初級中国語Ⅰ	2	前期	学部指定
初級中国語Ⅰ	2	前期	全学部
初級韓国語Ⅰ	2	前期	学部指定
初級韓国語Ⅰ	2	前期	全学部
中級独語A	1	前期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
中級仏語A	1	前期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
中級中国語A	1	前期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
中級韓国語A	1	前期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
独語入門Ⅰ	1	前期	全学部
仏語入門Ⅰ	1	前期	全学部
中国語入門Ⅰ	1	前期	全学部
韓国語入門Ⅰ	1	前期	全学部

科目名	単位数	開講期	対象学部等
初級独語Ⅰ	2	後期	全学部
初級独語Ⅱ	2	後期	学部指定
初級独語Ⅱ	2	後期	全学部
初級仏語Ⅰ	2	後期	全学部
初級仏語Ⅱ	2	後期	学部指定
初級仏語Ⅱ	2	後期	全学部
初級中国語Ⅰ	2	後期	全学部
初級中国語Ⅱ	2	後期	学部指定
初級中国語Ⅱ	2	後期	全学部
初級韓国語Ⅰ	2	後期	全学部
初級韓国語Ⅱ	2	後期	学部指定
初級韓国語Ⅱ	2	後期	全学部
中級仏語B	1	後期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
中級中国語B	1	後期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
中級韓国語B	1	後期	初級Ⅰ・Ⅱ 修得者
独語入門Ⅰ	1	後期	全学部
独語入門Ⅱ	1	後期	全学部
仏語入門Ⅰ	1	後期	全学部
仏語入門Ⅱ	1	後期	全学部
中国語入門Ⅰ	1	後期	全学部
中国語入門Ⅱ	1	後期	全学部
韓国語入門Ⅰ	1	後期	全学部
韓国語入門Ⅱ	1	後期	全学部

〔国際教養〕

科目名	単位数	開講期 ターム	対象学部等
南太平洋多島域	2	前期	
イタリアの言語と文化	2	前期	
基礎スペイン語	1	前期	
フランス近現代社会論	2	前期	
マイノリティから見る世界	2	前期	
ブラッシュアップ英語(4技能)	2	前期	
Exploring Kagoshima Local Issues	2	前期	
派遣留学スタートアップセミナー	1	前期第1ターム	派遣留学生対象
派遣留学スタートアップセミナー	1	前期第2ターム	派遣留学生対象
進取の精神海外研修inベトナム	2	前期・集中	
Kagoshima de SDGs in Theory	1	前期・集中	
Kagoshima de SDGs in the Field	1	前期・集中	
Pre-Study Abroad Seminar	1	前期・集中	
グローバル実地研修	1	前期・集中	
英語で学ぶ異文化理解	2	前期・集中	
英語で学ぶ環境問題	2	前期・集中	
国際感覚を持つバイテク人材育成	2	前期・集中	

科目名	単位数	開講期 ターム	対象学部等
Intercultural Communication for Global Citizens	2	後期	
TOEIC L&R 対策コース	2	後期	理、工、農、水産
ディストピア小説から学べること	1	後期	
フランス近現代社会論	2	後期	
マイノリティから見る世界	2	後期	
ブラッシュアップ英語リーディング	2	後期	
SDGs: 進捗状況と影響	2	後期	
アメリカの歴史と社会	2	後期	
グローバル・メディア事情	1	後期第3ターム	
派遣留学ラップアップセミナー	1	後期第3ターム	派遣留学等により帰国した者
派遣留学スタートアップセミナー	1	後期第3ターム	派遣留学生対象
派遣留学スタートアップセミナー	1	後期第4ターム	派遣留学生対象
Kagoshima de SDGs in Theory	1	後期・集中	
Kagoshima de SDGs in the Field	1	後期・集中	
Blue Carbon Eco-Tours in Ibusuki	1	後期・集中	
Partner Univ Exchange Seminar	2	後期・集中	
Post-Study Abroad Seminar	1	後期・集中	
How Language and Music Influences Society	2	後期	
英語で学ぶ異文化理解	2	後期・集中	
英語で学ぶ環境問題	2	後期・集中	

自然科学科目群

〔教養自然科学〕

科目名	単位数	開講期	対象学部等
鹿児島 naturally 史	2	前期	
最先端医療を創出するバイオ研究	2	前期	
脳と心の生物学	2	前期	
がんはなぜおこるのか：がんとの共生	2	前期	
遺伝のしくみ	2	前期	
教養線形代数学	2	前期	
口と顔の科学	2	前期	
宇宙のすがた	2	前期	
保健学入門	2	前期	
動物の病気	2	前期	
宇宙・地球における計測・計量	2	前期	
ウイルスとヒトの病気	2	前期	
生物学入門	2	前期	
教養の物理学入門	2	前期	
自然科学の扉	1	前期第1ターム	
歴史から学ぶコンピュータ	1	前期第1ターム	
自然科学実験	1	前期第2ターム	

科目名	単位数	開講期	対象学部等
ヒトの病気の成り立ちと予防II	2	後期	
口と顔の科学	2	後期	
食品・化粧品・医薬品の有機化学	2	後期	
遊び心と科学	2	後期	
動物の感覚・脳・行動	2	後期	
健康管理	2	後期	
電気電子工学入門	2	後期	
家畜の歴史	2	後期	
くらしの化学	2	後期	
動物心理学入門	2	後期	
天体観測と科学・技術	2	後期	
世界を変えた有機分子	2	後期	
医学・脳科学入門	2	後期	2科目履修 が条件
実験医学・脳科学	2	後期	

〔基礎自然科学〕 ※指定学部のみ

科目名	単位数	開講期	必修・ 選択必修	対象学部・学科等
基礎統計学入門	2	後期	必修	水産学部（水産学科） 医学部（保健学科/理学療法学専攻） 農学部・水産学部（国際食料資源学特別C）
基礎統計学入門	2	後期	選択必修	医学部（保健学科/作業療法学専攻）
基礎統計学入門	2	2年前期	必修	工学部（先進工学科、建築学科）
基礎数学入門	2	前期	必修	水産学部（水産学科）
基礎数学入門	2	前期	選択必修	医学部（保健学科/作業療法学専攻）
基礎物理学入門	2	前期	選択必修	医学部（保健学科/理学療法学専攻） 医学部（保健学科/作業療法学専攻）
基礎生物学入門	2	前期	選択必修	医学部（保健学科/理学療法学専攻） 医学部（保健学科/作業療法学専攻）
基礎化学入門	2	前期	選択必修	医学部（保健学科/作業療法学専攻）

※卒業に必要な単位数は、13ページまたは35ページ参照のこと。

人文社会科学科目群
〔教養人文社会科学〕

科目名	単位数	開講期	対象学部等
行動科学	2	前期	
日本国憲法	2	前期	教育学部
倫理学入門	2	前期	
古代東アジアの王陵	2	前期	
稲盛和夫の経営哲学（Ⅰ）	2	前期	
貞観政要を読む－帝王学入門－	2	前期	
簿記入門	2	前期	
映像で学ぶ稲盛哲学	2	前期	
障害児教育入門	2	前期	
教職概論	2	前期	法文、理、工、水産
教育心理学	2	前期	法文、理、工、水産、農
色彩－カラーコーディネート入門－	2	前期	
社会心理学概論	2	前期	
大学で学ぶ	2	前期	
アメーバ経営	2	前期	
大人になるための政治学	2	前期	
人間と環境の心理学	2	前期	
地理学と災害	2	前期	
美術への誘い	2	前期・集中	
稲盛哲学：稲盛研究の最高峰が伝授	2	前期・集中	
医学・行動心理学入門	2	前期・集中	2科目履修が条件
実験医学・行動心理学	2	前期・集中	

科目名	単位数	開講期	対象学部等
行動科学	2	後期	
日本国憲法	2	後期	法文、工、農、水、歯
日本国憲法	2	後期	理、医、共獣
身の周りの男女共同参画	2	後期	
戦後日本外交史	2	後期	
アメーバ経営	2	後期	
中国文学の世界	2	後期	
現代哲学入門	2	後期	
陽明学入門	2	後期	
障害児教育入門	2	後期	
教職概論	2	後期	法文、農、工、水産
教育心理学	2	後期	法文、理、工、水産、農
色彩－カラーコーディネート入門－	2	後期	
組織心理学概論	2	後期	
文化人類学の世界	2	後期	
稲盛和夫のリーダー論	2	後期・集中	

※開講科目一覧は2026年2月末時点のものであり、今後、変更の可能性があります。

○初年次教育科目群

〔1〕 学び合いの技法 【必修科目】

「学び合いの技法」は、大学生活、さらには人生を通して学術的活動を営むうえでの動機や基本的技法を身につけ、磨くことを目的とする科目です。より高度な学びや活動を実現するためには、自身の特徴や適性を客観的に捉えて計画的に自己管理すること、健全な倫理観に基づき物事を鋭く批判的に捉えること、他者とコミュニケーションを図りながら協働することが求められます。この科目では主体的な学習に必要なこれらの態度と能力を育みます。

大学での学び・学び合いは、様々な事象の中から注目すべき課題を自ら発見し、適切な問いに基づいて必要な情報を収集・精査・活用し、合理的な答えを導き出すことが重要です。さらに、学びへの興味関心を持続させる上で、学び合いの意義を確認することも大切です。この科目は、ディベートを通してこれらの技法を実践的に学びます。

〔2〕 学術レポートの基礎 【必修科目】

「学術レポートの基礎」は、論理的思考の基本を理解した上で、学術文章の読み方と書き方の技法を身につけることを目指す科目です。論理的思考は、大学生活だけでなく、社会生活においても必要になります。そして、学術文章の技法も、大学でレポートや論文を読み書きする際に必要であるのはもちろんのこと、社会に出てからも様々な場面で生きる技術です。この授業では、客観的事実や信頼性のある情報の収集・整理・分析の仕方、情報の適切な取り扱い方、有効な活用法の学習を通して、学術レポートを作成する技法を身につけます。

レポート作成の過程では、ピア活動を取り入れています。ピア(peer)とは同輩、仲間を意味する言葉で、ピア活動とは仲間同士で話し合いながら協働で学ぶことを意味します。レポート作成において、文章を実際に書くのは個人です。しかし、自分の考えを整理したり、どのように表現したら良いかを考えたりする上で、自分とは異なる視点から意見をもらうことも大切です。この科目では、レポートの書き方を学ぶだけでなく、ピア活動を通して自身の主張を論理的に整理し、まとめる能力を養います。

〔3〕 体育・健康科学 【必修科目】

学生時代はもとより、生涯にわたって充実した生活を送るためには、心身の健全な育成と健康の保持・増進が欠かせません。そのため、体育・健康科目では、理論と実習を関連づけながら、健康づくりの基礎となる知識と実践力を身につけることを目的としています。

体育・健康科学理論

大学生生活を充実させ、さらに生涯にわたって豊かな人生を送るために必要な心身の健康づくりを学ぶ科目です。心身の基礎的な機能やその適応能力、運動・栄養・休養などのライフスタイルについて理解を深め、日常生活で実践できる力を養います。

体育・健康科学実習

青年期における体力・運動能力の向上を図るとともに、生涯にわたる健康的な生活の基礎を築くことを目的とした科目です。自己の体力や身体機能の現状を把握し、筋力トレーニングや有酸素運動の方法、運動に対する生体反応の理解を通じて、安全で効果的な運動の実施方法を学びます。また、生涯にわたり楽しめる多様なスポーツ種目を体験します。

〔4〕情報活用 【必修科目】

情報活用科目は「情報活用I」と「情報活用II」で構成されており、近年急速に進んでいる情報・デジタル化社会、さらには Society 5.0 に対して適応していくための基礎的知識と技能を身に付けることを目指す科目です。また鹿児島大学が創設した教育プログラム：「文理横断・数理データサイエンス AI 教育導入プログラム」の教育プログラム科目で、文部科学省所管の「数理データサイエンス AI 教育プログラム：リテラシーレベル」の認定を現在受けています^{注)}。両科目を受講することで (1)数理データサイエンス AI の技術によって、社会および日常生活が大きく変化していることを理解し、そこから生み出される新たな価値を説明できる能力 (2)膨大なデータの集積（ビッグデータ）によって新たな雇用や産業分野が生じている現状を説明できる能力 (3)データの特徴を見出し、そこにある事象・背景・意味合いを説明できるとともに、その適切な分析手法を判断できる能力を身に付けることができます。

注) 認定期間：令和9年3月31日まで

数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
リテラシーレベル



MDASH
Literacy
Approved Program for Mathematics,
Data science and AI Smart Higher Education



情報活用I

大学での学修や日常生活において必要となる情報活用能力の基礎を身につけることを目的とした科目です。本科目では、PCを用いた基本的な操作や、文書作成、表計算、プレゼンテーションなどの情報処理技能を学びます。また、インターネットの適切な利用方法や電子メールによる情報交換、学内学習管理システム（LMS）の活用方法など、情報を正しく取得・整理・発信するための基本知識も習得します。さらに、情報セキュリティの基礎や初歩的な数理・データサイエンスの考え方も学ぶことで、情報社会において安全かつ効果的にデータや技術を活用できる力を養います。

情報活用II

情報活用Iで身につけた基礎的知識・技能をさらに発展させ、学部や専門分野に応じた応用力を養うことを目的とした科目です。本科目ではPCを用いた演習を中心に、実践的な情報処理能力や数理・データサイエンスの基礎、さらにビッグデータに関する基本的な知識を学びます。また、情報倫理や情報セキュリティ、生成AIの利活用に関する理解を深め、情報社会における課題解決や意思決定に役立つ実践的なスキルを身につけます。

○学際教育科目群

〔1〕大学と地域 【必修科目】

鹿児島大学は使命の一つとして、地域への貢献を掲げています。この目的達成のためには、地域の有する資源や課題を認識することが必要です。「大学と地域」は、みなさんが鹿児島の現実について理解することから、学修が始まります。

ただし、「大学と地域」の学修目標は、鹿児島の資源や課題を知ることそれ自体であると考えただけでは不十分です。地域資源を活用しつつ地域課題をいかにして解決していくのかについて、学問の境界を超えて多角的視点から主体的に検討し、論理的な主張が展開できるようになる必要があります。そこでまず、本学の果たしてきた役割や研究を通じた地域への働きかけ、あるいは地域に実在する様々な活動等を授業を通じて紹介します。これらの事例を参考に、みなさんはデータや情報を適切に活用し、かつ倫理的に正しい判断を積み重ねつつ、主張内容を構築してください。

「大学と地域」では、以上のような学びをより豊かにするために、協働のスタイルをとります。各クラス内でチームを結成し、地域課題の解決についてチームとしてプレゼンテーションに臨むこととなります。協働能力を高めることもまた、今日の社会で求められている事項と理解してください。

〔2〕地域志向 【選択必修科目】

地域の題材を活用した学際的な学びに関して、「大学と地域」は全学必修科目であるのに対し、「地域志向」科目は選択必修科目に位置づけられます。また、「大学と地域」は協働学修のスタイルを採用しているのに対して、「地域志向」科目は授業担当教員の教育理念に基づき、多様な学修スタイルをとっています。具体的には、知識の伝達と蓄積を目指す講義スタイル、フィールドワークを組み込んだ授業形式等です。鹿児島のことをさらに深く理解したい、あるいは地域を題材とした学びをさらに広げたいといった場合に、選択の対象にしてください。

〔3〕発展・実践 【選択必修科目】

「発展・実践」科目は、「地域志向」科目と共に選択必修科目に位置づけられます。ただし、学修スタイルは特徴的で、PBLと呼ばれる形式を主として採用しています。

PBLとは、Project Based Learning、ないし Problem Based Learning のことで、課題解決を目指す学修プロセスへの参画を通じて学びを進めていきます。多くの場合、PBLでは協働スタイルがとられる傾向にあります。

共通教育は、専門教育と比べて、学部の壁や学問の境界を超えて学び合える機会が多く用意されています。「発展・実践」科目はその典型的な学びの場と言えます。積極的な履修計画が期待されます。

○グローバル教育科目群

〔1〕英語 【必修科目】

共通教育における必修英語科目は、英検準1級（CEFR B1～B2）レベル相当の英語力の育成を目指し、大学生として必要な実践的英語運用能力（リスニング・スピーキング・リーディング・ライティング）の向上を図ります。多様な社会的トピックに対して自分の考えを論理的かつ明確に表現し、適切に発信・応答できる力を養うとともに、ディスカッションやディベートなどを通して相互理解を深める力を培います。また、将来の継続的な学修を支えるための自律的学習力と効果的な学習方略の定着を図ります。これらの目標を達成するために、共通教育における英語科目として、1年次から2年次（1期から3期）にかけて、英語Ⅰ（LS）、英語Ⅱ（RW）、英語Ⅲ（LSRW）の3科目（各2単位）を開講します（学部・学科により履修を必要とする科目は異なります）。

発信能力の育成を念頭におきながら、英語Ⅰ（LS）は、主に聞くこと、話すことに焦点を当てた英語力を修得します。英語Ⅱ（RW）は、主に読むこと、書くことに焦点を当てた英語力を修得します。

また、英語Ⅰ（LS）、英語Ⅱ（RW）では、予習や復習に加え、e-learningを毎週行い、授業外学習としてのe-learningへの取り組みが成績評価（学期ごとの成績評価の30%）に反映されます。具体的な内容は、授業担当教員から説明があります。

学部・学科選択の英語Ⅲ（LSRW）では、1年次の学修内容を応用し発展させ、その後の学部・学科選択の専門英語への橋渡しとします。

3期以降は、学部・学科により卒業要件単位数が異なります。次の表を参照してください。なお、共同獣医学部共同獣医学科は学部の履修案内を参照してください。

履修学年	1年次		2年次	卒業要件単位数
	1期	2期	3期	
科目名	英語Ⅰ (LS)	英語Ⅱ (RW)	英語Ⅲ (LSRW) ※動物基礎英語	
学部 (学科等)	単位数	単位数	単位数	
法文	2	2		4
教育	2	2	2	6
理	2	2	2	6
医 (医)	2	2		4
医 (保健)	2	2		4
歯	2	2		4
工 (先進工学)	2	2	2	6
工 (建築)	2	2	2	6
農 (農)	2	2	2	6
農・水 (国際食料資源)	2	2	2	6
水産 (水産)	2	2	2	6
共同獣医 (畜産)	2	2	2※	6

※共同獣医学部畜産学科の3期は、動物基礎英語。

履修上の注意

習熟度別クラス

英語の授業は、習熟度別クラス編成になります。どのクラスで授業を受けるかは、1期から3期それぞれの開始前に発表されます。

技能審査 (外国語技能検定試験) 合格者等の単位認定

実用英語技能検定に合格した者、及びTOEIC、TOEFL、IELTS、ケンブリッジ英語検定において一定の成績を修めた者は、所定の手続きに従って申請することにより、本学における授業を履修したものと単位認定を受けることができます。なお、認定基準についてはp. 74、手続きについてはp. 36を参照してください。

〔2〕初修外国語 【選択必修科目】（一部学部指定）

多様な世界観の共存を認め合う国際環境が求められている現在、諸文化間の人的交流や情報交換がますます必要になっています。外国語教育の目標は、諸言語によって表現された内容を正確に理解し、その言語による表現能力を高めるとともに、諸文化と価値体系の多様性に対する理解を深め、自己の文化的基盤を自覚しながら、国際理解と国際交流の能力を養うことにあります。

このような目標を達成するため、1年次に初修外国語の基本的な文法や運用能力を修得する「初級」の授業、および、「初級」の半分の授業時間数で初歩的な文法や挨拶・定型表現等を修得する「入門」の授業が開講されます。また、2年次には「初級」で獲得した能力を応用・発展させる「中級」の授業が用意されています。以下では、「初級」「入門」「中級」の順に単位の取り方について説明します。

履修上の注意

初級科目

1) 学部指定（法文学部・教育学部・歯学部）

法文学部・教育学部・歯学部では、卒業に必要な科目として初修外国語科目を指定しています。学部指定の初修外国語科目として、1期に「初級独語Ⅰ」「初級仏語Ⅰ」「初級中国語Ⅰ」「初級韓国語Ⅰ」（以下、「初級Ⅰ」）、2期に「初級独語Ⅱ」「初級仏語Ⅱ」「初級中国語Ⅱ」「初級韓国語Ⅱ」（以下、「初級Ⅱ」）が開講されます。いずれの初修外国語も「初級Ⅰ」と「初級Ⅱ」はそれぞれ週2回の授業をもって2単位となります。ただし、歯学部で仏語を選択する学生に対しては、1期と2期に週1回「初級仏語Ⅰ」を開講し、通年で2単位となります。この場合、1期1単位・2期1単位のような単位の分割は行いませんので、注意してください。なお、「初級Ⅰ」と「初級Ⅱ」は同じ言語を履修して単位を修得する必要があります。

学部により卒業要件単位数等が異なります。下の表で確認してください。

履修学年	1年次		必修単位数	受講可能な言語
	1期	2期		
履修期	科目名（単位数）			
学部（選択言語）	科目名（単位数）			
法文学部	初級Ⅰ（2）	初級Ⅱ（2）	4	独・仏・中・韓
教育学部	初級Ⅰ（2）		2	独・仏・中・韓
歯学部（独語選択）	初級Ⅰ（2）		2	独・仏
歯学部（仏語選択）	初級Ⅰ（2）		2	

2単位必修の教育学部においては、2期に「初級Ⅰ」と同じ言語の「初級Ⅱ」を履修することができます。「初級Ⅱ」で修得した2単位は「グローバル教育科目群」の単位になります。また、「初級Ⅱ」の2単位を必修である「初級Ⅰ」の単位に読み替えることも可能です。

歯学部は「初級Ⅰ」2単位が進級・卒業に必要な単位数です。歯学部で選択できる「初級Ⅰ」の初修外国語は、独語または仏語のみです。

2) 選択（すべての学部が履修可能）

「初級Ⅰ」は、1期と2期にすべての学部へ開放されたクラスを提供しており、週2回の授業をもって2単位となります。法文学部・教育学部・歯学部の受講希望者は、学部指定の科目として履修する「初級Ⅰ」と同じ言語を選択することはできません。すべての学部が履修可能な「初級Ⅰ」の科目は、自分が所属する学部・学科・コース等および選択する言語によって、受講可能なクラスの開講時間帯が異なるので、共通教育の時間割およびシラバス等を十分確認した上で履修登録してください。

入門科目

初修外国語として、以下の入門科目が開講されます。いずれも、週1回の授業をもって1単位となります。

1年次			
1期	単位数	2期※	単位数
独語入門Ⅰ	1	独語入門Ⅱ	1
仏語入門Ⅰ	1	仏語入門Ⅱ	1
中国語入門Ⅰ	1	中国語入門Ⅱ	1
韓国語入門Ⅰ	1	韓国語入門Ⅱ	1

※2期に各初修外国語の「入門Ⅰ」（単位数1）が開講される場合もあります。

「初級科目」として履修する初修外国語、あるいは「初級科目」の単位をすでに修得している初修外国語と同じ言語を「入門科目」で選択することはできません（例えば、初級科目として「初級独語Ⅰ」を修得している場合は、「独語入門Ⅰ」は履修できません）。また、選択可能な言語であっても、2期に同じ言語の「入門Ⅰ」と「入門Ⅱ」を同時に受講することもできません。ただし、選択可能な言語であって、同じ期に複数の「入門Ⅰ」を異なる言語で履修することは可能です。

「入門Ⅰ」は自分が所属する学部・学科・コース等および選択する言語によって開講時間帯が異なるので、共通教育の時間割およびシラバス等を十分確認した上で履修登録してください。

中級科目

初修外国語として、2年次から以下の中級科目が開講されます。いずれも、週1回の授業をもって1単位となります。

2年次			
3期	単位数	4期※	単位数
中級独語A	1	中級独語B	1
中級仏語A	1	中級仏語B	1
中級中国語A	1	中級中国語B	1
中級韓国語A	1	中級韓国語B	1

※4期の各初修外国語の「中級B」（単位数1）は、言語によっては開講されない場合もあります。

「中級A」と「中級B」には難易度の差はありません。なお、中級の授業を受講できるのは、「初級Ⅰ」と「初級Ⅱ」の計4単位を修得した者またはこれと同等の能力を持つ者に限られます。

技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定

ドイツ語技能検定試験、ゲーテ・インスティトゥート検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験、テスト・ダフ（TestDaF）、実用フランス語技能検定試験、フランス国民教育省・フランス語学力学力テスト（TCF）、フランス国民教育省・フランス語学力資格試験（DELFDALF）、中国語検定試験、漢語水平考試（HSK）、ハングル能力検定試験、韓国語能力試験に合格した者は、所定の手続きに従って申請すると、本学における授業を履修したのものとして単位の認定を受けることができます。なお、認定基準についてはp. 74、認定手続きについてはp. 36を参照してください。

〔3〕国際教養 【選択必修科目】

グローバル化が進展するにつれ人の行き来が頻繁になり、国レベルにとどまらず、地域レベルで多文化共生社会が形成されています。このような社会の中で、国際教養科目の学習目標は、国際社会に対応できる外国語能力の基礎や多文化共生および異文化理解のための基礎的知識を身につけることにあります。異なる価値観や世界観を理解することで、自国の文化を相対的に捉え、国際社会の課題解決に必要な論理的思考力や分析力、多面的な視点を養います。

この目標を達成するために、1年次から2年次にかけて（1期から4期）、英語のスキルを磨く科目、英語以外の言語を学ぶ科目、海外の文化などを学ぶ科目を開講します。

○自然科学科目群

〔1〕 教養自然科学 【選択必修科目】

教養自然科学科目は、自然現象や科学技術に対する基本的理解を深めるとともに、論理的思考力や科学的リテラシーを育むことを目的としています。自然科学の選択科目の履修を通じて、科学的なアプローチを用い、課題を整理し、合理的な解決策を見いだす力を養うことができます。さらに、科学的な知見を活用することで、より持続可能な社会の実現や、自らの生き方の選択にも役立てることができます。

教養自然科学を履修することにより、単なる知識の習得にとどまらず、多角的な視点や創造的な思考力を養うことができます。科学が社会に果たす役割や価値について考えながら、主体的に学びを深めることで、自然科学と密接に関係する現代社会の課題に対し、社会の一員として責任ある判断を下す能力を育みます。これらの科目は自然科学に関連する専門教育とも密接に関わっており、基礎と専門をつなぐ重要な役割も果たしています。

座学で得た知識を自らの体験として深めるため、文系の学生も受講可能な実験科目「自然科学実験」が用意されています。さらに実験未経験者のための導入科目（講義形式）として「自然科学の扉」があります。「自然科学実験」「自然科学の扉」を履修するには受講条件などの注意事項を必ず確認してください。

履修上の注意

- ・理学部および水産学部で中学校教諭一種免許状（理科）の取得を希望する学生は「自然科学実験」を履修する必要があります。
- ・「自然科学実験」を履修するには、「CO・OP学生総合共済」・「学生賠償責任保険」もしくは、「学生教育研究災害障害保険」・「学研災付帯賠償責任保険」等の保険への加入が必須です。保険の加入については、鹿児島大学生生活協同組合にお問い合わせください。

〔2〕 基礎自然科学 【必修科目／選択必修科目】（学部指定）

基礎自然科学科目は、高校で自然科学の各分野（数学・物理・化学・生物など）を十分に学んでいない学生を主な対象とし、大学の理系学部における専門教育に必要な基礎知識と理解を身につけることを目的としています。これらの科目は、大学での学びを円滑に進めるための橋渡しとしての役割を担っており、自然科学における専門的な探究を行う上での出発点となります。

高校までの学習では、自然科学の理解が断片的であったり、十分に体系化されていない場合があります。基礎自然科学科目では、そうした基礎知識の不足や理解の不十分さを補い、大学レベルで必要とされる自然科学の知識と思考の土台を整えることができます。これにより、専門教育課程に進んだ際に内容が理解できずに立ち止まることなく、より主体的な学びへと移行することが可能になります。

履修上の注意

- 基礎自然科学科目は学部・学科によって必修または選択必修として科目が指定されています。履修にあたっては、下の表に掲載されている各学部(学科等)指定の科目を選択して履修してください。なお、これらの科目が卒業要件とされていない学部・学科等の学生は履修できませんので、注意してください。

学部	学科等		授業科目	履修期	単位	履修方法	卒業に必要な単位数
医学部	保健学科 (理学療法学専攻)		基礎統計学入門	2期	2	必修	2
			基礎物理学入門	1期	2	1科目選択 (注)	2
			基礎生物学入門	1期	2		
	保健学科 (作業療法学専攻)		基礎数学入門	1期	2	1科目選択	2
			基礎化学入門	1期	2		
			基礎生物学入門	1期	2		
			基礎物理学入門	1期	2		
			基礎統計学入門	2期	2		
	工学部	先進工学科 建築学科		基礎統計学入門	3期	2	必修
農学部	国際食料資源 学特別コース	農学系サブ	基礎統計学入門	2期	2	必修	2
		水産系サブ					
水産学部	水産学科		基礎数学入門	1期	2	必修	4
			基礎統計学入門	2期	2	必修	

(注) 受験時に選択しなかった科目を選択することが望ましい。

○人文社会科学科目群

〔1〕 教養人文社会科学 【選択必修科目】

人文社会科学科目群において、教養人文社会科目は、人間・文化・社会に関わる学問分野の基礎的な知識や教養を幅広く身につけることによって、世界や社会構造の大きな変化、テクノロジーの著しい進化・発展とそこから生じる現代的諸課題解決に必要な能力の基礎を育む科目となります。

その中で、人文科学は哲学・文学・史学・語学など広く人類の創造した文化を対象として研究する学問で、社会科学は人間の社会的行為と関連付けながら、社会生活・社会組織・社会問題などのしくみを明らかにしようとする学問です。これらの科目は人文・社会科学の各学問分野に属する科目として、人文・社会科学に関連する専門教育にも深く関わってくる科目です。

履修上の注意

- ・教育学部は、「日本国憲法」が必修科目となります。

VI 外国人留学生のための科目の概要

外国人留学生を対象として、日本文化と日本社会に対する理解を深め、大学において学業を遂行するために必要な日本語能力を身につけることを目標にして、日本語と日本事情の科目を開講しています。

〔1〕日本語 【必修科目（共同獣医学部共同獣医学科を除く）】

大学での勉学の土台となるアカデミックスキルを身につけるため「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」の4科目を開講しています。各科目の内容は以下の通りです。

日本語Ⅰ：レジュメや課題作成に必要な要約、引用、コメントシート作成等について学ぶ

日本語Ⅱ：レポート作成に必要な日本語の表現を学ぶ

日本語Ⅲ：口頭発表を行うために必要な知識と表現、スキルを学び、最終的に個人で口頭発表を行う

日本語Ⅳ：資料の収集・精査、アウトライン作成、引用・図表の説明の仕方などを学びながら、最終的に2000～3000字のレポートを作成する

〔2〕日本事情 【必修科目（共同獣医学部共同獣医学科を除く）】

日本社会で生活していく上での必要な知識、地域の歴史、社会、文化を学習するほか、「防災」「メンタルヘルス」などについて、各分野の専門家から学びます。

日本語・日本事情科目の開講期は下の表のとおりです。

1期（1年前期）	2期（1年後期）	
	第3ターム	第4ターム
日本語Ⅰ、日本語Ⅱ 各1単位	日本語Ⅲ 2単位	日本語Ⅳ 2単位
日本事情 2単位		

履修上の注意

「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」の4科目と「日本事情」は外国人留学生にとって必修科目です。共同獣医学部共同獣医学科の外国人留学生の場合、日本語・日本事情科目は必修ではないため、単位を修得しても卒業要件単位にはなりません。外国人留学生にとって日本語・日本事情科目は履修することが望ましい授業科目です。

※外国人留学生の各学部・学科ごとの卒業要件単位数はp. 35のとおりです。外国人留学生

は初年次教育科目群の学術基礎科目「学び合いの技法」「学術レポートの基礎」は履修しません（ただし、共同獣医学科では必修）。

日本語科目のクラス分け

「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」の4科目は、1回目の授業で実施するプレースメントテストの結果によってクラスを指定しますので、必ず出席してください。クラス分けの結果はmanabaで通知します。日本語・日本事情科目について、学生が履修登録をする必要はありません。

「日本事情」の読み替え

「日本事情」の単位は学際教育科目群（地域志向、発展・実践）、自然科学科目群（教養自然科学）、人文社会科学科目群（教養人文社会科学）の中の選択科目の単位に読み替えることができます。読み替えの際、日本事情科目の2単位をどの選択科目に読み替えるかは、自分で決めることができます。ただし、歯学部の学生は、卒業要件単位数を満たすため、「日本事情」で取得した2単位を人文社会科学科目群の単位に読み替えてください。

「英語」科目について

「グローバル教育科目群」の英語科目は必修です。ただし、TOEIC、TOEFL、IELTS、ケンブリッジ英語検定などの検定試験を受け、その得点が一定の基準を超えている場合は、その得点に応じて英語の単位が認定されます。得点と認定される単位数についてはp. 74をご覧ください。単位認定を希望する場合は、決められた期間内に申請を行ってください。

よくある質問

Q1 履修登録はどうしますか

日本語・日本事情科目は英語科目、体育・健康科学科目などと同じで、学生が自分で登録する必要はありません。

Q2 2年生以上になってから、日本語・日本事情科目を履修してもいいでしょうか？

日本語・日本事情科目は、全学部の留学生が履修できるような時間帯に授業があります。2年生以上になると、専門科目の授業が多くなってくるので、日本語・日本事情科目の授業時間と重なり、履修できない場合があります。できるだけ1年生のうちに履修してください。

令和8年度入学生 共通教育科目卒業要件単位数(外国人留学生)(規則第7条関係)

科目枠組		初年次教育科目						学際教育科目			グローバル教育科目					自然科学科目		人文社会科学科目		個別最適化科目 (注1)	合計単位数	
		必修						必修	選択必修		必修			選択必修		選択必修						
		学術基礎		体育・健康科学		情報活用		大学と地域	地域志向*	発展・実践*	英語	日本語	日本事情	初修外国語		国際教養*	教養自然科学*	基礎自然科学	教養人文社会科学			
		学び合いの技法	学術レポートの基礎	理論	実習	情報活用I	情報活用II				(注9)	(注10)	(注6)	【学部指定】	【選択】*		【学部指定】	【学部指定】	【選択】*			
学部学科																						
法文	法経社会学科	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	4	-	-	2	2	30		
	人文学科	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	4	-	-	2	2	30		
教育	学校教育教員養成課程	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	2	-	2	-	2	30		
理	理学科	-	-	1	1	1	1	2	4	6	6	(2)	-	4	2	-	-	2	2	32		
医	医学科	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	2	-	-	2	2	28		
	保健学科(看護)	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	2	-	-	2	2	28		
	保健学科(理学療法)	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	2	4	(注4)	-	2	32		
	保健学科(作業療法)	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	4	2	(注5)	-	2	32		
歯	歯学科	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(2)	-	4	2	-	-	4	2	30		
工	先進工学科	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	2	2	(注3)	-	2	32		
	建築学科	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	2	2	(注3)	-	2	32		
農	農学科	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	4	-	-	2	2	32		
	国際食料資源学特別コース																					
水産	農学系サブ	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	2	2	(注3)	-	2	32		
	水産系サブ	-	-	1	1	1	1	2	2	6	6	(2)	-	4	2	2	(注3)	-	2	32		
共同獣医	水産学科	-	-	1	1	1	1	2	2	4	6	(注11)	(2)	4	2	4	(注7)	-	2	32		
	共同獣医学科	1	1	1	1	1	1	2	2	8	-	-	-	2	4	(注8)	-	-	2	28		
	畜産学科	-	-	1	1	1	1	2	4	6	6	(2)	-	4	2	-	-	2	2	32		

(注1) 個別最適化科目は、科目群によらず全ての選択必修科目「*」の中から自由に選択できるが、基盤ルーブリックに照らし合わせた自己評価に基づき、自分の学びに必要と考えられる科目を推奨する。

(注2) 日本国憲法(2単位)必修

(注3) 基礎統計学入門(2単位)必修

(注4) 基礎統計学入門(2単位)必修。基礎物理学入門(2単位)、基礎生物学入門(2単位)から1科目選択。ただし、物理学及び生物学に関しては受験時に選択しなかった科目を受講することが望ましい。

(注5) 基礎統計学入門、基礎数学入門、基礎物理学入門、基礎化学入門、基礎生物学入門の5科目から1科目選択

(注6) 日本事情(2単位)は、学際教育科目群(地域志向、発展・実践)、自然科学科目群(教養自然科学)、人文社会科学科目群(教養人文社会科学)の単位に読み替えることができる。

(注7) 基礎数学入門、基礎統計学入門を必修

(注8) 共同獣医学科は導入教育系科目として、生命倫理学、コミュニケーション論を必修

(注9) 英語母語話者の場合、日本語又は初修外国語を修得することで、英語の単位を修得したものと読み替えることができる。ただし、教育職員免許状の取得を目指す者は除く。

(注10) 日本語(6単位)は、履修申請単位数の上限枠に含まれない。

(注11) 英語 I (LS)、英語 II (RW)を必修

Ⅶ 履修手続きをする前に知っておくこと

〔1〕入学前に修得した単位の認定

「鹿児島大学共通教育科目履修規則」第11条の規定（p.63参照）により、大学又は短期大学を卒業又は中途退学し、新たに本学の1年次に入学した学生の既修得単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがあります。

共通教育科目の既修得単位認定を希望する学生は、共通教育係で所定の手続きを取ってください。

〔2〕技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定

英語・初修外国語科目について単位認定を受けようとする者は、「外国語技能審査合格者等の単位認定申請書」に必要事項を記入し、必ず学生証と検定試験の合格証書又は成績認定証を持参して共通教育係窓口申請してください。なお、単位認定申請期間は、前期は4月の指定期間、後期は10月の指定期間とします。手続きの詳細及び単位認定の確認等に関しては、共通教育係の指示に従ってください。各技能審査等の認定基準はp.74を参照してください。

〔3〕教員免許状の取得

本学では、法文・教育・理・工・農・水産の各学部で、教育職員免許状（以下「教員免許状」と略称）を取得することができます。教員免許状には、いくつもの種類があります。自分が所属する学部・学科では、どのような種類の教員免許状が取得できるかを確認し、取得する教員免許状の種類を決めておく必要があります。

教員免許状を取得できる種類、取得のために必要な科目・単位数などについては、所属学部の学生担当窓口尋ねてください。教員免許状を取得するために必要な科目の中には、「日本国憲法」、「実験」などの共通教育科目も含まれます。また、教員免許の取得、採用試験対策等の教職全般についてサポートする教師教育開発センターがあります。当センターが発行している教職課程履修ハンドブックで詳細を確認してください。

学部：一種免許状

学部	学科等	取得可能な教員免許または領域	
		学校種	免許教科
法文学部	法経社会学科	中学校	社会
		高等学校	公民, 商業
	人文学科	中学校	国語, 英語, 社会
		高等学校	国語, 英語, 地理歴史, 公民
教育学部	学校教育教員養成課程	幼稚園	-
		小学校	-
		中学校	国語, 社会, 英語, 数学, 理科, 技術, 家庭, 音楽, 美術, 保健体育
		高等学校	国語, 書道, 地理歴史, 公民, 英語, 数学, 理科, 工業, 家庭, 音楽, 美術, 保健体育
		特別支援学校	知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者
理学部	理学科	中学校	数学, 理科
		高等学校	数学, 理科, 情報
工学部	先進工学科	高等学校	工業
農学部	農学科	高等学校	農業
	国際食料資源学特別コース 農学系サブコース	高等学校	農業
水産学部	国際食料資源学特別コース 水産学系サブコース	高等学校	水産
	水産学科	中学校	理科
		高等学校	水産, 理科

教職課程履修ハンドブック <https://www.tepd2-kadai.jp/Handbook>



〔４〕学芸員資格の取得

本学では、法文・教育・理・水産（国際食料資源学特別コース（農・水）を除く）の各学部で学芸員の資格を取得することができます。

資格を取得するために必要な科目・単位数などについては、所属学部の学生担当窓口にて尋ねてください。

また、資格を取得するために必要な科目の一部（下記の表参照）を共通教育センターで開講していますが、卒業要件単位数には含まれませんので注意してください。（詳細はシラバス（学芸員資格科目）参照）

科目名	単位	科目名	単位
生涯学習概論	2	博物館資料保存論	2
博物館概論	2	博物館展示論	2
博物館経営論	2	博物館教育論	2
博物館資料論	2	博物館情報・メディア論	2

VIII 履修手続

〔1〕シラバス

授業科目ごとに担当教員名、授業概要、授業計画、成績評価基準、教科書などを詳しく記載したものをシラバスといいます。履修申請日までに、シラバス、共通教育履修案内等をよく読んで予め自分が受講したい授業を厳選しておいてください。シラバスは、インターネットにつながったPC又はスマートフォンであれば、どこからでも閲覧できます。次の順にアクセスしてください。

シラバスの閲覧要領

- ① 「鹿児島大学」トップページにアクセスし、「教育・学生生活」→「教育活動」→「鹿児島大学の講義概要（シラバス）」→「開設部局」で「共通教育センター」を選択し、検索ボタンをクリックします。
- ② 「共通教育科目一覧」が表示されるので、科目名等の入力欄に検索キーワードを入力し、検索ボタンをクリックします。
※科目名の一部を入力しても検索できます。
- ③ 検索キーワードに一致する科目情報が表示されるので、シラバス欄に表記されているアイコンをクリックします。

〔2〕履修計画

卒業要件単位数を満たすためには、各期に、科目区分ごとに、何単位を修得していけばよいのか、「シラバス」及び4期までの「授業時間割表」も参照しながら、履修計画を立てることが大切です。また、2年次になってから開講される科目については、「授業時間割表」に記載されている科目以外に、若干の追加開講を予定しています。なお、変更する場合もあるので注意してください。

履修は、「授業時間割表」と「開設授業科目表」をよく参照して計画してください。また、開設授業科目表の中には受講対象「学部・学科・学年等」が指定されているものもあります。

なお、選択必修科目は「授業時間割表」に記載されていないものもありますので、当該期の「開設授業科目表」をよく参照してください。

〔3〕履修申請

申請日

履修申請は、「共通教育行事予定表」で指定された期日に行われます。

「共通教育行事予定表」や履修方法などの詳細事項は、共通教育掲示板（p. 79参照）などで知らせます。また、専門教育科目の申請日時が異なる場合がありますので注意してください。

申請方法

履修科目の申請は、インターネットを利用して行います。指定された期日であれば、みなさんはインターネットにつながったPC又はスマートフォンで、どこからでも鹿児島大学の履修登録システムにアクセスして、履修科目の申請ができます。

履修申請時に用意しておくもの

「令和8年度入学生 共通教育履修案内」・・・この冊子です。

「開設授業科目表」・・・受講対象や受講制限、選択必修科目などが確認できます。

「新入生オリエンテーション資料（共通教育）」・・・履修申請要領が記載されています。

「鹿児島大学IDパスワード設定コード通知書」

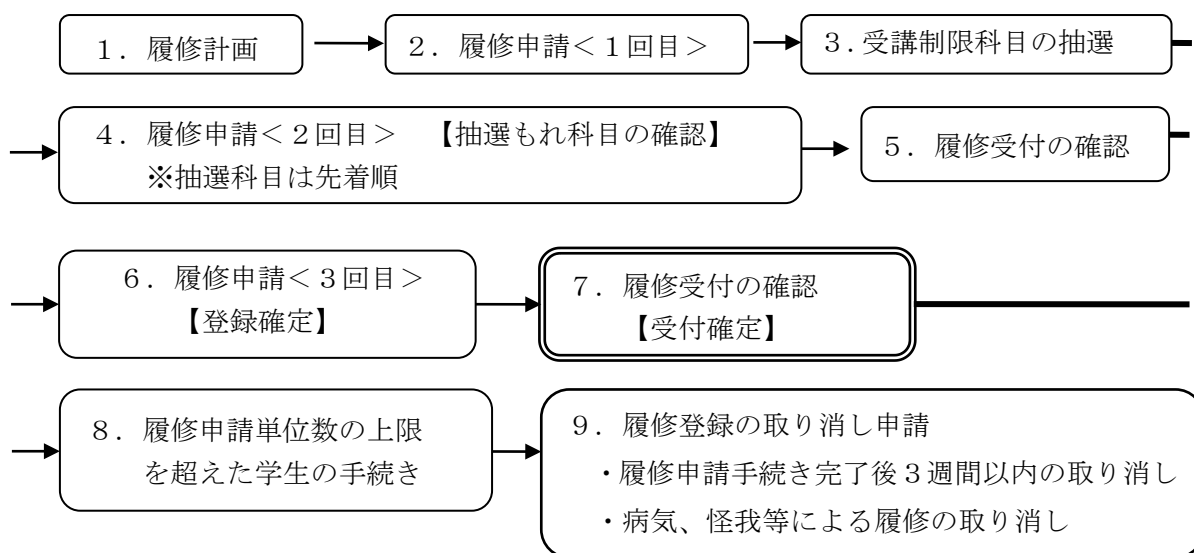
「履修申請表（ワークシート）」

集中講義

夏季休業中などに、集中講義を開講します。開講する科目、履修申請については掲示板及び大学ホームページでお知らせしますので、履修希望者は掲示に注意してください。なお、履修申請単位数の上限には含まれません。

〔4〕履修手続きの流れ

履修手続きは、下図のような流れになります。それぞれの項目について詳細な説明がありますのでよく読んでください。



1 履修計画

「共通教育履修案内」、「シラバス」、「開設授業科目表」を参考にして履修計画を立て、申請する授業科目を履修申請表（ワークシート）に記入してください。Web入力のための下書きになります。

履修計画の立て方

① 授業時間割表の確認

各学部・学科で、共通教育科目が開講される時間帯が異なります。「共通教育履修案内」に掲載している「令和8年度入学生授業時間割表」を参照して、どの時間帯にどの科目が開講されているのか確認してください。なお、授業時間割表に記載のない選択必修科目などは「開設授業科目表」を参考にして履修計画を立ててください。

② 必修科目の確認

「学び合いの技法」、「学術レポートの基礎」、「体育・健康科学（理論、実習）」、「情報活用（Ⅰ、Ⅱ）」、「大学と地域」、「英語」は、あらかじめ授業クラスが割り当てられています。開設授業科目表又は履修登録システムで担当教員、時間割コードを確認してください。割り当てられた授業クラス以外での受講は原則として認められません。

③ 選択必修科目の確認

選択必修科目で卒業に必要な科目として指定されていない科目は、自分でどの講義を受講するかを選択することができます。シラバスを参考にして、受講したい科目を選択してください。ただし、本学はGPA制度を導入していますので、選択必修科目を履修し、もし単位を修得できなかった場合は、その科目の評価F（＝0点）がGPAの数値を下げる要因になります。したがって、安易な履修登録はGPAに悪影響を及ぼします。選択必修科目でも履修すれば必修科目と同じ重みを持ちますので、真剣に取り組んでください。

2 履修申請＜1回目＞

履修科目の申請は、PC又はスマートフォンから履修登録システムにアクセスして行います。受講制限科目（受講許可申請が別途必要なものを除く）は、この時点では申請どおり受け付けます。担当教員の受講許可申請が必要な科目については、掲示等に注意してください。履修登録の方法については、入学時に配付される「新入生オリエンテーション資料（共通教育）」を参照してください。

3 受講制限科目の抽選

履修申請終了後、受講人数の上限を超過した授業科目はコンピュータによる無作為抽選を行います。

受講制限を行う授業科目

講義室や実験室等の収容定員や授業の内容により、受講制限をせざるを得ない場合があります。受講制限の内容については、当該期の「開設授業科目表」を参照してください。

抽選もれとなった場合、その科目の登録は自動的に無効となります。履修申請日<2・3回目>に追加登録できますが、履修登録は先着順となり、定員に達すると登録が打ち切られます。

授業科目によっては、担当教員の受講許可が必要な場合があります。それらについては、当該期の「開設授業科目表」や掲示板などを参照してください。

4 履修申請<2回目>【抽選もれ科目の確認】

PC又はスマートフォンから履修登録システムにアクセスして、抽選もれ科目がないか必ず確認してください。抽選結果に応じて、履修科目を変更することができます。

5 履修受付の確認

授業開始までに学務Webシステムに抽選結果や履修規則違反等の情報を反映させた履修受付確認表を公開します。例年、授業クラスの間違いや登録したつもりなのに実際は登録されていなかったということが多々ありますので、学務Webシステムの登録内容に誤りがないか必ず確認してください。

(履修受付確認は、履修登録システムではなく、学務Webシステムで確認してください。)

6 履修申請<3回目>【登録確定】

授業開始後に、履修申請を変更する機会が1回だけ与えられ、その後の変更は、原則として認められません。履修申請を変更した際は、登録内容に誤りがないか必ず確認してください。また、新たな科目を追加する場合は、履修申請単位数の上限を超えないように注意してください。

7 履修受付の確認【受付確定】

3回目の履修申請日以降、再び学務Webシステムで、履修違反等の情報を反映させた履修受付確認表を公開します。未登録科目及び履修申請単位数の上限を超えた単位は一切認められませんので注意してください。万が一、誤りがあれば、共通教育係に相談してください。履修申請単位数の超過などの特別な場合を除き、履修登録は確定となります。

8 履修申請単位数の上限を超えた学生の手続き

単位数上限を超えた場合は、履修受付確認表にエラーとして表示されます。所属する学生担当窓口で超過単位数の取り消しの手続きを行ってください。手続きを行わなかった場合には、強制的に履修申請が取り消されるので注意してください。(上限設定については、p. 11参照)

9 履修登録の取り消し申請

履修申請の手続き完了後、申請内容の変更は原則として認められません。しかし、受講中の科目で履修を取り止めたい科目があった場合には、履修登録確定後3週間以内であれば、共通教育係で履修登録取消申請をすることができます。また、病気や怪我などで長期欠席となる事態が発生した場合は、医師の診断書を添付して履修登録取消申請ができます。この場合は、学期中であれば申請可能です。これらの手続きは、意に添わない受講や怪我などの不測の事態により、受講科目の単位修得を放棄し、GPAが低くならないようにする特例措置です。

よくある質問

Q 1 現在2年生ですが、1年生で開講されている科目を履修できますか？

上級生でも、1年生のみを対象にしている科目以外であれば履修できます。ただし、授業クラスが学部・学科・番号等で指定されている科目については、該当するクラスで履修してください。受講対象・受講制限については、当該期の開設授業科目表を参考にしてください。

Q 2 IDとパスワードが分からないので、履修登録画面にログインできません。

IDは鹿児島大学ID（kで始まる8文字の文字列）です。

鹿児島大学IDマイページにて[連絡先メールアドレス]又は[秘密の質問]を設定している場合、自身でパスワードを再設定できます。設定していない場合は、各学部学生係で手続きが必要です。

Q 3 外国語技能検定の単位認定をしたいのですが、単位認定を申請する科目の履修申請はどうすればよいですか？

単位認定を申請する科目の履修申請は不要です。単位認定の申請方法は、「技能審査（外国語技能検定試験）合格者等の単位認定について」を確認してください。（p. 26参照）

Q 4 共通教育科目と専門教育科目の履修申請日は同じですか？

共通教育科目と専門教育科目の履修申請日は異なる場合があります。専門教育科目の履修申請日については、所属学部の掲示板等に注意してください。

Ⅸ 共通教育に関する授業アンケート

鹿児島大学の学生が受講する授業を、素晴らしいものへと発展させるための原動力は、授業を受ける学生の声です。そのため、共通教育センターでは、授業に対する学生の意見、感想、要望などを集め、個々の授業をより良いものへとするために、各ターム末および各学期末において「授業改善に資するアンケート」を実施します。

アンケートでは、学生が授業に取り組む姿勢や教員の授業運営、授業全体の満足度なども質問します。それらの集計結果は、各授業の担当教員にフィードバックされるほか、科目分野ごとに集計され、より良い共通教育のカリキュラム編成のために、貴重な資料として利用されます。

アンケートの回答がみなさんの成績を左右することは決してありません。その一方で、統計的に信頼できる結果を得た上で、その結果をもとに授業改善の方針を決めるためには、アンケート対象者の大部分から回答が得られる必要があります。

従って、みなさんは、アンケートに誠実に向き合い、授業に対する率直な意見について回答してください。

X 試験及び単位認定

〔1〕 試験

授業科目の成績評価は、シラバスに記載された「学習目標」と「成績の評価基準」に基づく学習達成度の確認により行います。試験は、筆記試験、小テスト、レポート、実技、作品などの方法により行い、総合的に評価します。試験は、共通教育行事予定表（表紙裏面）に記載してある試験日（原則各ターム最終日）に実施する試験（主に筆記試験）や授業中に実施される小テストや授業で課されるレポートなどがあります。

〔2〕 単位認定とGPA制度

共通教育においては、共通教育科目の学習達成度を測るためにグレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度による成績評価を行います。成績は、下表に示すように、学習達成度90%以上をA、80%以上90%未満をB、70%以上80%未満をC、60%以上70%未満をD、60%未満をFと評価します。評価のグレード・ポイント（GP）は、A=4点、B=3点、C=2点、D=1点、F=0点（不合格）となります。

学習達成度	評点	評語	認定
90%以上	100点～90点	A	合格
80%以上90%未満	89点～80点	B	合格
70%以上80%未満	79点～70点	C	合格
60%以上70%未満	69点～60点	D	合格
60%未満	59点～0点	F	不合格

各学期、1年間及び入学後のGPAをそれぞれ、学期GPA・年間GPA・通算GPAと呼び、当該履修期間に履修した科目のGPを用いて、以下のような単位平均値により求めます。

$$(\text{学期} \cdot \text{年間} \cdot \text{通算}) \text{ GPA} = \frac{4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F}{n_A + n_B + n_C + n_D + n_F}$$

ただし、 $n_A \sim n_F$ はそれぞれ当該期間のGPがA～Fの総単位数です。この式から明らかのように、評価F（=0点）で不合格となった科目があるとGPAが下がり、共通教育科目における学習達成度が低いことを意味します。

GPAの具体例についてはp. 12を参照してください。

1 GPA制度の対象外科目

単位認定科目及び他大学等単位互換制度により単位を修得した科目（成績評価はP（認定））と卒業要件外の科目が対象外となります。

2 履修申請科目の取り消し

履修登録確定後に放棄した科目の評価はF（不合格）となります。評価Fも成績原簿に記録されますので、GPAを算出する場合に、評価F（=0点）はGPAを下げることであります。ただし、次の場合には、事前に履修を取り消すことができます。

- ・病気や怪我などで長期欠席となるために、医師の診断書を添付して履修登録取消申請をした場合
- ・履修登録の確定後3週間以内に、履修登録取消申請を行った場合

3 不合格科目及び単位修得後に成績更新をする科目の再履修

不合格になった科目の評価F（=0点）は、GPAを下げることであります。したがって、選択科目であっても、不合格になった科目は再履修をして、GPの値を改善することができる手続きがあります。また、単位を修得した場合でも、GPの値が低いときには、GPAが下がります。それゆえ、単位を修得した科目でも、成績を更新するために再履修をすることが可能です。

不合格科目あるいは単位を修得した後にGPの値を更新しようとする科目については、成績更新のための再履修手続きを行うことができます。この場合、共通教育係で再履修申請を行います。なお、再履修申請は、原則として通常の履修申請よりも優先して登録されます。

再履修申請を行った場合、再履修が確定した時点で以前の評価は取り消されます。したがって、再履修科目の学習に励まなかったりすると、かえって評価が悪くなりGPAが以前よりも低下することもあるので、注意してください。

また、成績評価の認定が不合格となった科目又は単位を修得した後に成績を更新しようとする科目が未開講となり、在学期間中に再履修できない場合は、当該科目と同一の学問分野の授業科目を代替科目として履修し、成績を更新することができます。ただし、当該科目と同一の学問分野の授業科目がない場合は、成績を更新することはできないので、注意してください。

4 GPAに基づく表彰と助言・指導

共通教育の通算GPAが優秀な学生には、「共通教育センター長賞」の表彰を行います。また、学期GPAが低い学生に対しては、クラス担任教員等が面談を行い、修学及び学生生活全般にわたり助言・指導を行います。その他、所属学部において、GPAによる賞罰や進級制度などが設けられている場合がありますので、所属学部の履修要項などを参照してください。

共通教育センター長賞表彰基準

1～3期（ただし、医学部医学科、歯学部、共同獣医学部共同獣医学科は1～2期）の通算GPA3.5以上の者で各学部上位2名とし、かつ卒業要件を満たした者。

助言・指導基準

1～2期の各学期GPAが1.5未満、又は1期の修得単位数が10単位未満（歯学部は15単位未満、工学部は6単位未満）、2期の修得単位数が6単位未満の者。

（p.61「鹿児島大学共通教育科目履修規則」）

（p.66「鹿児島大学共通教育科目試験等規則」）

〔3〕 追試験

- (1) やむを得ない理由により試験等を受けることができなかった者に対して、追試験を行うことがあります。
- (2) 追試験を希望する場合、当該科目の試験等の終了後に共通教育係で追試験願を受け取り、当該科目の担当教員の許可を得た後、原則として1週間以内に共通教育係に提出してください。
- (3) 担当教員の許可を受けるときには、確認のため以下の書類が必要です。
 - ・ 病気、交通事故・・・医師の診断書
 - ・ 交通機関の運休、遅延・・・各機関の発行する証明書
 - ・ その他・・・・・・・・・・やむを得ない事由を証明するもの

〔4〕 再試験

- (1) 試験の結果、不合格の者に対して、再試験を行うことがあります。
- (2) 再試験の実施科目、日程などについては、掲示により通知します。
- (3) 再試験においては、70点以上の成績は認定されません。
- (4) 再試験の成績判定は、当該授業科目が行われた学期の次の学期に行われます。ただし、再試験に合格した場合の単位は、当該授業科目が行われた学期の単位として認定されません。そのため、各学部における進級判定や卒業判定が行われる学期の再試験授業科目の場合、それらの判定の単位としては算定されませんので、特に注意が必要です。

〔5〕 受験上の注意

- (1) 試験科目、試験時間、試験場等は掲示します。事前に確認してください。
なお、科目によっては小テストなどが行われますが、その場合には担当教員の指示に従ってください。
- (2) 受験に際しては、学生証を必ず持参してください。学生証が受験票の役割を持ちます。
- (3) 試験当日、学生証を持っていない者は、理由を書いた仮受験票発行願を共通教育係に提出し、仮受験票を発行してもらって受験してください。学生証を持参しないことが度重なった場合、仮受験票を発行しない場合もありますので十分注意してください。
- (4) 学生証又は仮受験票を持参しない者は、試験場への入室を拒否され受験できません。
- (5) 筆記用具以外の筆箱等の持物は、特に指示のある場合を除き、机上においてはいけません。携帯電話、スマートフォン、時計型端末などの通信機器や電子辞書等の情報検索が可能な機器を使用することはできませんので、必ず電源を切ってカバンなどに入れてください。
- (6) 学生証は、机の通路側においてください。
- (7) 試験開始時刻に遅れた場合、試験開始後20分以内は入室を認めますが、20分を超えて遅れた場合には、入室を認めません。また、25分以上経過しなければ退室することはできません。

〔6〕不正行為の措置

不正行為は、試験の際に、代理受験、カンニングペーパーの持込、答案用紙の交換、携帯電話、スマートフォン等の使用、他人の答案の盗み見等の行為が該当します。また、レポートの盗用・剽窃等（他人の文章やWebサイトの文章を学術上の引用ルールに則ることなくあたかも自分の文章として記載すること。）も不正行為にあたります。

不正行為を行った場合は「鹿児島大学共通教育科目試験等規則」第9条（p.67参照）により、原則として、当該期の共通教育科目の全受験科目を不合格（0点）とする措置がとられます。なお、不正行為は、共通教育センターによるこの措置とは別に、学則第60条による懲戒処分を受けることとなります。

〔7〕成績評価等に対する開示請求と異議申立て

共通教育科目に係る成績評価等の開示請求ができる制度があります。

また、開示結果だけでなく、普段の授業等における成績判定などについて異議がある場合、異議を申立てできる制度もあります。

これらの概要を次に示しますが、開示請求等を行わずに解決する場合もありますので、共通教育係に相談してください。

●成績等の開示請求について

成績評価や成績評価の基礎となる試験の答案について、開示請求が可能です。

●異議・再異議申立てについて

- (1) 成績評価の結果が予想と大きく異なる場合など、成績評価等について異議申立てができます。
- (2) 履修・受験したにもかかわらず、成績通知表に成績が記載されていないなど、誤った処理の疑いがある場合、問い合わせができます。
- (3) 異議申立ての回答について、納得がいかない場合、再度異議申立てをすることが可能です。

●成績等開示請求と異議・再異議申立ての手順

- (1) 開示請求と申立ては、原則として本人が行います。ただし、やむを得ない事由がある場合は、代理人を通じて行うことができます。
- (2) 共通教育科目の成績等開示請求の受付期間は、原則として前・後期の成績発表の日から7日以内としています。また、異議申立ては、履修科目の授業開始日に始まり、成績が発表された日から原則として7日以内までの期間に行えます。再異議申立ての場合も、異議申立てに対する回答書を受理してから原則として7日以内です。
- (3) 成績等開示請求をする場合は成績等開示請求書に、申立てをする場合は異議申立書・再異議申立書に必要事項を記入の上、共通教育係に提出してください。以上の内容について、詳しく知りたい場合は、共通教育係に問い合わせてください。

〔8〕単位互換制度

単位互換制度とは、他の大学、短期大学又は高等専門学校において授業科目を履修し、単位を修得した場合、一定の範囲内で本学の単位として認定する制度です。

本学では、以下の単位互換制度を設けていますが、それ以外に学部で行っている単位互換制度もありますので、所属学部の窓口で確認してください。

単位互換制度を利用して、履修可能な単位数及び卒業要件単位として認定される単位数は、各自の所属する学部によって取扱いが異なりますので、所属学部の学生担当窓口で確認してください。

1 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）「KRICEキャンパス鹿児島」

（※①）

鹿児島県内の6大学、4短期大学及び1高等専門学校（※②）が提供している授業科目の中から、科目開設校（※③）で履修し単位を修得すれば、鹿児島大学の単位として認定されます。

※①「KRICE（クライス）」とは、Kagoshima（鹿児島）Regional（地域）Intercollegiate（大学間）Credit（単位）Exchange（互換）の頭文字による名称です。

※②参加大学等名：鹿児島大学・鹿屋体育大学・鹿児島国際大学・鹿児島純心大学・志学館大学・第一工科大学・鹿児島県立短期大学・鹿児島純心女子短期大学・鹿児島女子短期大学・第一幼児教育短期大学・鹿児島工業高等専門学校

※③授業科目を提供する大学等。

2 鹿児島大学と放送大学との間における単位互換

この単位互換制度は、鹿児島大学及び放送大学で開講する授業科目を双方の大学の規則に定めるところにより、両大学の学生が相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める制度です。

時間に縛られず、場所の制約を受けずに本学にない内容の授業科目を履修したい、自分に深く関連する授業科目を履修したいなどの活用方法がありますので、積極的に利用してください。

放送大学の授業形態は、放送授業とオンライン授業があります。放送授業は、印刷教材（テキスト）が用意され、テレビラジオインターネットによる放送授業の視聴と印刷教材による学習を併せて進めます。通信指導や単位認定試験は、定められた期間に自宅のPCなどから受けられます。オンライン授業は通信指導や単位認定試験を行わず、講義の視聴・課題提出などインターネット上で学習を進め、単位修得をめざします。

放送大学の入学料の徴収はありません。また、授業料に関しても予算の都合上、年間100名までは自己負担はありませんが、学生1人当たり、前・後期各1科目を限度とします。

なお、単位互換制度を利用して放送大学の授業科目を履修しようとする場合は、所定の期日までに、「出願票」、「入学願書（鹿児島大学学生用）」を共通教育係に提出してください。

詳細は、「鹿児島大学ホームページ」→「教育・学生生活」→「自主学習等」→「単位互換制度（県内大学等・放送大学）」を参照してください。

令和8年度の共通教育科目として履修できる単位互換科目は次頁のとおりです。

1年生は、出願時期の関係上、令和8年度後期から受講できます。

（参考）上記1及び2の単位互換制度で認定可能な単位数

法文学部	教育学部	理学部	医学部	歯学部	工学部	農学部	水産学部	共同獣医学部	
								（共同獣医学科）	（畜産学科）
4	6	6	6	6	0	6	6	0	6

令和8年度 放送大学科目

分類	No.	科目名	単位
学際教育科目 発展・実践(選択必修)	1	地理空間情報の基礎と活用('22)	2
	2	健康と社会('23)	2
	3	健康への力の探求('19)	2
	4	情報と法('23)	2
	5	社会統計学入門('24)	2
	6	社会調査の基礎('19)	2
	7	共生のための技術者倫理('24)	2
	8	海からみた産業と日本('22)	2
	9	エネルギーと社会('19)	2
	10	プログラミング入門Python('24)	1
	11	表計算プログラミングの活用('25) 一体系的・実践的な理解へー	1
	12	生活環境情報の表現 —GIS入門('20)	1
	13	社会科学の研究計画作成法('26)	1
グローバル教育科目 国際教養(選択必修)	14	シン・ビートルズde英文法('25)	2
	15	英語で発信する日本文化('26)	2
	16	グローバル時代の英語('22)	2
	17	英語で読む大統領演説('20)	2
	18	教養で読む英語('19)	2
	19	多文化共生のコミュニケーション('24)	2
	20	日本語教育学入門('24)	2
	21	韓国朝鮮の歴史と文化('21)	2
	22	ユーラシアのなかの中国史('26)	2
	23	西アジアの歴史('24)	2
	24	都市から見るヨーロッパ史('21)	2
	25	近現代ヨーロッパの歴史('22) 一人の移動から見るー	2
	26	ヨーロッパ政治史('24)	2
	27	中国からジェンダー史を考える('26)	1
	自然科学科目 教養自然科学(選択必修)	28	宮沢賢治と宇宙('24)
29		睡眠と健康('25)	2
30		初歩からの数学('18)	2
31		疾病の回復を促進する薬('25)	2
32		人体の構造と機能('26) ー人体の構造と機能及び疾病Aー	2
33		生物環境の科学('25)	2
34		かたちの化学 ー化学の考え方入門('23)	2
35		分子の変化からみた世界('23)	2
36		疾病の成立と回復促進('25) ー人体の構造と機能及び疾病Bー	2
37		情報理論とデジタル表現('19)	2
38		入門微分積分('22)	2
39		初歩からの物理('22)	2
40		初歩からの化学('18)	2
41		物理の世界('24)	2
42		ダイナミックな地球('21)	2
43		現代を生きるための化学('22)	2
44		総合人類学としてのヒト学('18)	2
45		暮らしに役立つバイオサイエンス('21)	2
46		演習初歩からの数学('20)	1
47		循環器の健康科学('20)	1
48	物理と化学のための数学('21)	1	
人文社会科学科目 教養人文社会科学(選択必修)	49	平和と安全保障('26)	2
	50	教育の社会学('25)	2
	51	現代教育入門('21)	2
	52	テーマで学ぶ日本教育史('24)	2
	53	教育政策のデザイン('25)	2
	54	教育・学校心理学('20)	2
	55	発達心理学概論('17)	2
	56	社会経済の基礎('25)	2
	57	社会学概論('25)	2
	58	社会福祉 ー新しい地平を拓く('22)	2
	59	一般市民のための法学入門('23)	2
	60	政治学入門('26)	2
	61	経営学入門('24)	2
	62	生活経済学('25)	2
	63	貧困の諸相('23)	2
	64	西洋哲学の根源('22)	2
	65	哲学・思想を今考える('23) ー歴史の中でー	2
	66	歴史のなかの人間('22)	2
	67	日本近現代史('21)	2
	68	『枕草子』の世界('24)	2
	69	日本文学と和歌('21)	2
	70	世界文学への招待('22)	2
	71	人文地理学からみる世界('22)	2
	72	心理学概論('24)	2
	73	情報セキュリティと倫理・心得('26)	2
	74	レジリエンスの科学('24)	2
	75	ゲーム理論入門('25)	1

XI 学生生活

〔1〕 自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱い

以下の「申合せ」を授業等休講の判断の目安にしてください。

大学が休講措置を決定した場合は、直ちに「申合せ」の 3 の方法で周知します。本学ホームページのトップページ「INFORMATION」欄に掲載します。

自然災害等非常時における授業・学期末試験等の取扱いに関する申合せ

平成 16 年 4 月 1 日

学長裁定

平成 19 年 1 月 12 日一部改正

平成 22 年 10 月 1 日一部改正

平成 29 年 4 月 1 日一部改正

令和元年 7 月 9 日一部改正

令和 3 年 6 月 8 日一部改正

令和 5 年 9 月 19 日一部改正

令和 7 年 7 月 15 日一部改正

この申合せは、鹿児島市及びその周辺の自治体に避難指示等が発令され又は警戒レベル相当の防災気象情報が発表された場合及び不測の事態が生じた場合に、学生の安全確保を最優先とした対応を前提とした授業・学期末試験等(以下「授業等」という。)の取扱いに関し、必要な事項を定める。

1 休講等措置の決定

(1) 休講等の措置は、学長が指名する理事及び共通教育センター長が 2 に定める判断基準に基づく協議により決定し、学長に報告する。

(2) 前号の規定にかかわらず、学部等は特別の事情がある場合には、学部長等の判断により休講等の措置を決定することができる。ただし、この場合には学長及び前号の理事に報告するものとする。

2 授業等の取扱い

(1) 授業等開始前の取扱い

午前 6 時 30 分の時点で次の判断基準アからウまでのいずれかの状況が確認された場合は、原則として午前中(1、2 時限目)の授業等を休講とする。

なお、午前 11 時時点で、判断基準アからウまでのいずれかの状況が継続している場合は、原則として午後の授業等も休講とする。

判断基準

【避難情報等(警戒レベル)】

ア 鹿児島市に警戒レベル 4 (避難指示)以上が発令されている場合

【防災気象情報(警戒レベル相当情報)】

イ 鹿児島市に警戒レベル 4 相当(氾濫危険情報、土砂災害警戒情報)以上の防災気象情報が発表されている場合

【公共交通機関情報】

ウ 市電又は路線バスが運行を見合わせている(運休を含む。)場合

(2) 授業等開始後の取扱い

前号の判断基準に準じて、取り扱う。

なお、休講の措置をとる場合で帰宅困難な学生がいる場合は、学生が適切な避難行動をできるように本学としての対応について併せて協議を行い決定する。

(3) 居住地又は通学経路に係る取扱い

前2号の取扱いにより、授業等が休講とならなかった場合でも、居住地又は通学経路にかかわる地域で警戒レベル4(避難指示)以上が発令され若しくは警戒レベル4相当以上の防災気象情報等が発表され、又は公共交通機関(鹿児島中央駅発着のJR、桜島フェリー又は垂水フェリー)の運休等が生じ、学生自身が安全確保の観点から登校しないことが適当と判断し、欠席等に至った場合には、当該学生に不利益が生じないよう取り扱うものとする。

(注)教育実習・病院実習・介護等体験実習・インターンシップ等の場合は、各実習先の指示に従うものとする。

3 休講等措置の周知方法

(1) 学生部は、学生及び授業担当教員に周知するために、鹿児島大学ホームページに休講措置等の情報を掲載する。併せて、学務 Web メールにより学生に周知する。

(2) 学部等は、学生及び授業担当教員に対し、学習管理システム manaba 等により必要な情報を速やかに周知する。

(3) 不測の事態等により、第1号又は第2号に定める方法による周知がない場合は、2の取扱いに基づき、各自で判断するものとする。

4 その他

(1) 地震等不測の事態が生じた場合も、上記に準ずる。

(2) 学長及び学長が指名する理事が必要と判断した場合には、1の(1)及び2の規定にかかわらず、休講等の措置等について決定し、実施することができる。

<参考>

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
				浸水の情報(河川)		土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~						
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	<b>4</b>	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	<b>3</b>	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	<b>2</b> 相当	氾濫注意情報	——
<b>1</b>	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	<b>1</b> 相当	——	——

(出典：内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年度)」)  
[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)

## 〔2〕 学生生活上の相談

学生生活で何か困っていること、悩んでいることがあれば、気軽に「学生何でも相談室」へ申し出てください。相談内容により、所属する学部の実任教員、教務委員、学生生活委員などと連携して対応しています。詳細については「学生便覧」を確認してください。

### 1 修学及び学生生活一般

修学及び学生生活一般に関する総合的な指導・助言を担当する教員が各学部にありますので、所属学部の学生担当窓口を通して相談することもできます。

#### <学生何でも相談室等の案内>

充実した学生生活が送れるように、悩みや迷いに対する相談窓口として、共通教育棟1号館2階に「学生何でも相談室」があります。相談室では、学生生活課の職員が相談者の話を聞き、相談内容に応じて、相談員（各学部学生生活委員）、クラス担任等の教員、ハラスメント相談員、保健管理センター、また、学内外の相談窓口等と連携しながら対応します。

相談内容について、秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

「学生何でも相談室」 電話 099-285-7311

また、次のような相談は下記の部署で応じています。

共通教育科目等の履修・成績に関する相談 「共通教育課共通教育係」  
電話 099-285-3452・8825

奨学金の相談 「学生生活課経済支援係（奨学金担当）」  
電話 099-285-7329・8154

授業料免除の相談 「学生生活課経済支援係（免除担当）」  
電話 099-285-7033・7312

就職関係の相談 「キャリア形成支援センター」  
電話 099-285-7341・7321

#### <修学支援室（障害学生支援センター）>

「修学支援室（障害学生支援センター）」では、学生生活につまづきを感じている学生や障害のある学生からの修学に関わる相談に応じています。必要に応じ配慮申請の手続きを行っています。

修学の相談・支援の申請 「修学支援室（障害学生支援センター）」  
電話 099-285-3287

## 2 担任教員等

各クラス又はクラス内の一定人数ごとに担任教員・助言指導教員が配置されており、修学に関する諸事項、授業料免除や奨学金に関する諸事項、休・退学や進路に関する諸事項などについて助言・指導を行います。とくに学期末にG P Aが低い成績不振者に対する助言・指導を行うなど、適切な学生生活を維持するための良きアドバイザーとして活動しますので、学生は進んで遠慮なく担任教員等に相談してください。

### 令和8年度入学生 クラス担任教員等

学部	学科等	組	学籍番号 (学科等、番号)	担任教員等
法文学部	法経社会学科(法学)	1	62001～	米田 憲市
				三上 佳佑
				本村 大輔
				梶 悠輝
				上原 大祐
	法経社会学科(地域社会・経済)	2	63001～	王 鏡凱
				片桐 資津子
				YU Kijun
				酒井 佑輔
				金子 満
				高倉 啓
				林田 吉恵
				松川 太一郎
				新井 利英
	人文学科(多元地域文化・心理学)	3	64001～	尾崎 孝宏
				末松 信子
				宇佐美 達朗
			65001～	横山 春彦
	教育学部	学校教育教員養成課程 初等教育コース一般	1	41001～
				下木戸 隆司
				亀井 森
				三浦 芳恵
				山口 武志
				道下 洋二
				石原 知英
				寺床 勝也
				金 娟鏡
				桶田 洋明

	学校教育教員養成課程 初等教育コース音楽	1	42001～	梅林 郁子
	学校教育教員養成課程 初等教育コース保健体育	1	43001～	中島 友樹
教育学部	学校教育教員養成課程 中等教育コース国語	2	68001～	梅崎 光
	学校教育教員養成課程 中等教育コース社会		69001～	永迫 俊郎
	学校教育教員養成課程 中等教育コース英語		74001～	丹羽 佐紀
	学校教育教員養成課程 中等教育コース数学	3	70001～	和田 信哉
	学校教育教員養成課程 中等教育コース理科		71001～	栗和田 隆
	学校教育教員養成課程 中等教育コース技術		72001～	深川 和良
	学校教育教員養成課程 中等教育コース家政	4	73001～	石橋 愛架
	学校教育教員養成課程 中等教育コース音楽		44001～	石田 匡志
	学校教育教員養成課程 中等教育コース美術		45001～	和田 七洋
	学校教育教員養成課程 中等教育コース保健体育		46001～	藤田 勉
	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース		63001～	片岡 美華
理学部	理学科	1	60001～	・数理情報科学プログラム 松井 一、小櫃 邦夫 ・物理・宇宙プログラム 三井 好古 ・化学プログラム 神崎 亮 ・生物学プログラム 櫛田 優花
	理学科	2	60096～	・地球科学プログラム 小林 励司 ・CPUクラス 新留 康郎
医学部	医学科	1	10001～	(助言指導教員)
	保健学科 (看護学専攻)	2	21001～	(助言指導教員)
医学部	保健学科 (理学療法学専攻)		22001～	大渡 昭彦 松田 史代
	保健学科 (作業療法学専攻)		23001～	井上 和博 窪田 正大
歯学部	歯学科	1	10001～	齋藤 充
				前田 綾
工学部	先進工学科 (機械工学プログラム)	1	32001～	駒崎 慎一
				田中 智行

工学部	先進工学科 (電気電子工学プログラム)		2	33001～	甲斐 祐一郎
	先進工学科 (海洋土木工学プログラム)		3	34001～	日高 弥子
	先進工学科 (化学工学プログラム)		4	35001～	水田 敬
	先進工学科 (化学生命工学プログラム)		4	36001～	中島 常憲
	先進工学科 (情報・生体工学プログラム)		2	37001～	岡村 純也
	先進工学科 (工学系共通クラス)		5	38001～	重井 徳貴
	建築学科 (建築学プログラム)		3	40001～	倉富 洋
農学部	農学科		1	50001～	香西 直子
			2		大久津 昌治
			3		吉崎 由美子
			4		亀川 藍
水産学部	国際食料資源学 特別コース	農学系 サブコース	2	41001～	坂上 潤一、 Mun'de C.M Vestergaard
		水産学系 サブコース		70001～	石崎 宗周、 Vazquez Archdale, Miguel (バスケス A. ミゲル)
	水産学科		1	50001～	鈴木 崇史
				50019～	遠藤 光
				50037～	江幡 恵吾
				50055～	小松 正治
	水産学科		2	50073～	仁科 文子
				50090～	小谷 知也
50107～				内匠 正太	
50124～				奥西 将之	
共同獣医 学部	共同獣医学科		1	11001～	小澤 真
	畜産学科		2	21001～	大塚 彰

※学籍番号は、以下のように10桁の数値から成り立っています。

○○      ○○      ○○      ○○○      ○  
 学部      入学年度      学科等      番号      チェックデジット

### 〔3〕 諸願・届及び注意事項

学生生活を送る上で必要な事項や諸手続きは、「学生便覧」にも記載されています。詳細については、指定された学生担当窓口にお問い合わせください。

#### 1 学生の身分異動等

##### (1) 学生カード

本学在学学生は、学生カードの登録が必要となっていますので、学務Webシステムから登録してください。

また、登録後、住所や電話番号等の変更があった場合は、速やかに学務Webシステムから学生カードの変更登録も忘れずに行ってください。

##### (2) 学生証の再交付

学生証は必ず携帯しなければなりません。

学生証を紛失、汚損したときは、直ちに学務Webシステムで再発行の理由を登録後、1週間以内に生協本部（中央食堂2階）又は桜ヶ丘店（桜ヶ丘会館2階）の最寄りの窓口へ再発行料を納付し、再発行申請を完了してください。この場合の再発行料は学生の自己負担となります。再発行申請後、再発行後の学生証交付までに約1週間を要します。

##### (3) 休学

病気、その他の理由によって引き続き2カ月以上修学できない場合は、所属学部の学生担当窓口申し出た後、担任教員に相談した上、「休学願」を提出してください。病気の場合は、医師の診断書が必要です。

##### (4) 復学

休学期間中にその事由が解消されたときは、所属学部の学生担当窓口「復学願」を提出してください。病気ですべて休学した場合は、医師の診断書が必要です。

##### (5) 退学

退学を願い出るときは、所属学部の学生担当窓口申し出た後、担任教員に相談した上、「退学届」を提出してください。病気の場合は、医師の診断書が必要です。

##### (6) 欠席届

連続して3週間以上欠席する場合は、所属学部の学生担当窓口理由書（病気の場合は医師の診断書）を添付して欠席届を提出してください。

#### 2 証明書などの発行

##### (1) 在学証明書、卒業（修了）見込証明書、成績証明書、学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）、健康診断証明書（異常なしの場合）、学生教育研究災害障害保険証明書の発行

IC学生証を用いて証明書発行機で発行してください。

学生カード未登録、学生証不携帯や有効期限切れの場合は利用できません。

<証明書発行機設置場所>

(郡元) 大学会館、中央図書館、教育学部第一講義棟

(下荒田) 水産学部4号館、(桜ヶ丘) 桜ヶ丘会館

##### (2) 学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）の発行

実習、見学、教育活動、就職試験、帰省等の目的でJR各社の区間を片道100kmを超えて乗車する場合、1人あたり1年間（4月～翌年3月）30枚を限度として証明書発

行機で学割証の交付を受けることができます。有効期限は3カ月です。学割証を使用する際は、学割証裏面の使用上の注意をよく読み、絶対に不正に使用しないでください。

なお、1人あたり1年間（4月～翌年3月）30枚を超える場合は、所属学部 of 学生担当窓口で理由を付して申し出てください。

### (3) 通学証明書の発行

市電、市バス、JR、南国交通、鹿児島交通、その他の交通機関の定期券購入希望者は、通学証明書を窓口で発行します。3期（ただし、医学部医学科、医学部保健学科看護学専攻、歯学部、共同獣医学部は2期）までは共通教育係窓口で、4期以降は所属学部 of 学生担当係窓口で手続きしてください。

## 3 車両等による通学

近年、通学に自動車及びバイクの利用者が非常に多くなっており、交通事故や騒音問題もそれに伴い増加の傾向にあります。従って通学には公共の交通機関を利用してください。

(郡元地区の交通規制)

郡元地区では、原則として片道10km以上の通学者に対して自動車での入構を許可しています。(自動車によらなければ通学が困難な学生は、通学距離にかかわらず許可しています。)

自動車での通学を希望する場合は、あらかじめ各学部の教務係又は学生係に入構許可申請を行い、入構許可証の交付を受け、必ずその自動車に掲示することになっています。

また、郡元地区では、学内の交通安全と教育・研究環境を保持するため、パスカード方式による構内の交通規制を行っています。パスカードの購入手続きについては、担当係へ問い合わせてください。

構内では下記の事項を遵守してください。(許可車以外の入構はできません)

(遵守事項)

- ① 歩行者の安全を第一とし、構内に設置されている道路標識及び標示に従うこと。
- ② 構内の運行速度は20km/h以下とすること。
- ③ 駐車場はそれぞれ所属学部等専用として指定されているので、各自所定の場所に駐車すること。また、バイクは専用駐車場に駐車すること。
- ④ 出構時までは自動車及びバイクの移動を行わないこと。
- ⑤ 自動車については、入構許可証を指定の場所に掲示すること。
- ⑥ 本学の行事又は緊急事態等に際して臨時に車両（自動車、バイク及び自転車）の運行を規制する時はそれに従うこと。
- ⑦ 長期間構内や駐輪場などに放置された車両は、一定の警告期間を経た後、撤去・処分される場合があります。

## 4 健康の維持

### (1) 学生定期健康診断（4月）

学生の定期健康診断は、「鹿児島大学学生規則」に基づき実施しているので、必ず受診してください。実施上の詳細については、オリエンテーション資料や保健管理センターのホームページを必ず確認してください。また、メール・掲示板等も確認してください。

### (2) 健康相談

大学内で急に気分が悪くなったり、ケガをしたり、休養などの必要がある場合は、保健管理センターに相談してください。

## 5 共通教育棟の施設の利用（P Cの利用など）

### （1）P C教室の案内と利用について

共通教育棟1号館2階と3階には123・134・135・136・137号情報教育教室（以下、P C教室）があり、約200台のP Cが設置されています。自習利用時間及び自習利用に開放する教室は共通教育係にご確認ください。

P C教室は鹿児島大学の重要な教育施設です。また、多くの学生が教育や研究で活用していますので、基本的なマナーを守り、大切に使用してください。

なお、同様に利用できるP Cが情報基盤統括センターや附属図書館（中央図書館、水産学部分館）にも設置されています。開館時間についてはそれぞれ施設のW e b サイトをご確認ください。

### （2）利用方法や利用するときの注意とマナーについて

①P Cを利用するためには、鹿児島大学I Dとパスワードが必要です。入学時、各学部オリエンテーションで「鹿児島大学I D・パスワード設定コード通知書」が配付されます。パスワード設定コードの有効期限内に各自でパスワードを設定し、鹿児島大学I Dを有効にしてください。設定したパスワードは、他人に知られることがないように厳重に管理してください。

②鹿児島大学I Dのパスワードを忘れた場合は、事前に鹿児島大学I Dマイページにて[連絡先メールアドレス]又は[秘密の質問]を設定していると、自身でパスワードを再設定できます。設定されていなかった場合は、学生証を持参の上、各学部学生係にお越しください。

③P C教室の自由利用について、利用するときの手続きは特に必要ありません。

ただし、授業が行われておらず、かつ利用が許可されている部屋に入室してください。

④共通教育棟のP C教室は土足のまま入室できますが、教室の美化に協力してください。

また、教室内は、機器保護のため飲食は禁止です。蓋が完全に閉まる水筒（ペットボトルも含む）に入った水に限り持ち込みは可能ですが、バッグ等に入れるようご協力ください。

⑤P Cの故障が疑われる場合は、共通教育係に連絡してください。

⑥教育・研究以外でのP Cの利用やP C等を用いての違法行為（ファイル交換ソフトや違法コピーによる著作権侵害、不正アクセスなど）は当然禁止です。もし発覚した場合は、利用資格の停止や制限、さらに懲戒処分などの措置をとることもあります。

## 6 その他

### （1）共通教育係の窓口

共通教育係の窓口は、共通教育棟1号館1階にあります。

業務時間は午前8時30分から午後5時までです。（土日祝日、年末年始等の大学の休業日を除く）

共通教育科目及び学芸員資格の成績や履修に関する重要なことは、直接窓口で問い合わせてください。

### （2）遺失物について

遺失物の取扱いは、共通教育課共通教育係・各学部の教務係又は学生係（学生支援係）並びに学生会館1階事務室で行いますので、落としたと思われる学部等の担当係に問い合わせてください。

(3) 奨学金について

「学生便覧」を参照ください。

(4) 授業料免除について

「学生便覧」を参照ください。

(5) 教室の使用

課外活動のため教室の使用を希望する場合は、使用する3日前（土日祝日、年末年始等の大学の休業日を除く）までに共通教育係へ使用願を提出し、承認を得てください。使用できる教室と時間は原則として次のとおりです。

使用できる教室 共通教育棟1号館及び2号館

使用できる時間 月曜日～金曜日 18時～21時

※土日祝日、年末年始等の大学の休業日を除く

## XII 転学部について

本学では、他の学部に転学部を志願する者があるときは、関係学部の定めるところにより、転学部を許可することがあります（学則第35条）。ただし、次のとおり学部ごとに条件が異なっているため、当該学部で確認してください。

- |        |                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 法文学部   | 他学部からの転入は、当該学科・コースの教育・研究に支障のない限り、教授会の議を経て認めることがある。また、他学部への転出は、特別な事情がある場合に限り、教授会の議を経て許可することがある。       |
| 教育学部   | 他学部からの転入は、入学年次の定員に欠員がある場合に限り、教授会の議を経て認めることがある。また、他学部への転出は、特別な事情がある場合に限り、教授会の議を経て認めることがある。            |
| 理学部    | 本学部に転学部を志願する者又は本学部から他学部へ転学部を志願する者があるときは、教授会において選考の上、転学部を許可することがある。                                   |
| 医学部    | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出を志望する者があるときは当該学部の定めるところによりこれを許可することがある。                                    |
| 歯学部    | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出は、教授会の議を経て許可することがある。                                                       |
| 工学部    | 他学部からの転入は、当該プログラムの教育・研究に支障のない限り、当該プログラムで審査の上、教授会の議を経て許可することがある。また、他学部への転出は教授会の議を経て許可することがある。         |
| 農学部    | 他学部への転出、他学部からの転入は、教授会の議を経て認める。転入については、在学生の修業に支障がない限りにおいて許可することがある。                                   |
| 水産学部   | 他学部からの転入は、当該志願者の転入年次において、学則に定める入学定員の欠員がある場合に限り、選考の上、教授会の議を経て許可することがある。また、他学部への転出は、教授会の議を経て許可することがある。 |
| 共同獣医学部 | 他学部からの転入は原則として認めない。他学部への転出を志望する者があるときは当該学部の定めるところによりこれを許可することがある。                                    |

鹿児島大学共通教育科目履修規則

鹿児島大学共通教育科目試験等規則

鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則

鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群における技能  
審査合格者等の単位認定規則

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群に係る技能審  
査等の認定基準に関する申合せ



## 鹿児島大学共通教育科目履修規則

平成16年4月1日  
規則第115号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号。以下「学則」という。)第38条第7項の規定に基づき、鹿児島大学(以下「本学」という。)における共通教育科目の履修方法等について、必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の開講期)

第2条 授業科目の開講期は、原則として次のとおりとする。

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～翌年3月31日

(共通教育科目の区分)

第3条 共通教育科目の区分は、別表第1及び別表第2のとおりとする。

2 共通教育科目に係る授業科目名、単位数、講義内容及び開講期は、別に定める。

第4条 削除

(授業期間)

第5条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、これらの期間より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(単位の計算)

第6条 各授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、講義、演習、実験若しくは実習のいずれか又はこれらの併用の方法に応じ、当該授業科目による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験及び実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(学部別卒業要件単位数等)

第7条 各学部における共通教育科目の卒業要件単位数及び履修方法は、別に定める。

(外国人留学生の履修の特例)

第8条 外国人留学生(共同獣医学部共同獣医学科の外国人留学生を除く。)に係る日本語・日本事情科目の履修については、日本語6単位及び日本事情2単位を修得しなければならない。この場合において、日本事情の2単位は、学際教育科目群(地域志向、発展・実践)、自然科学科目群(教養自然科学)又は人文社会科学科目群(教養人文社会科学)の単位に読み替えることができる。

(授業時間割及び履修申請)

第9条 開設する授業科目の時間割及び担当教員は、各期の履修登録日の前に公示する。

2 学生は、受講する授業科目を選定のうえ履修計画を作成し、各期の始めの所定の期日に履修申請をしなければならない。

3 履修申請し受講の承認を得ていない授業科目については、単位の認定を受けることができない。

4 履修登録の変更は、原則として認めない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、履修登録を取り消すことができるものとする。

(1) 病気や怪我などで長期欠席となるために、医師の診断書を添付して履修登録取消申請をした場合

(2) 履修登録の確定後3週間以内に、履修登録取消申請をした場合

5 同じ授業科目が、同一時間帯に複数開設される場合、指定された授業クラス以外の受講は、原則として認めない。

(再履修)

第9条の2 成績評価の認定が不合格となった科目又は単位を修得した後に第10条の2に定めるグレード・ポイント(以下「GP」という。)の値を更新しようとする科目は、再履修の申請を行うことができるものとする。

2 再履修の申請は、原則として前条第2項に基づく履修申請よりも優先して登録されるものとし、再履修が確定した時点で、当該科目の成績評価は削除する。

3 再履修登録の変更は、前条第4項第1号に定める場合を除き、認めない。

4 再履修に関し必要な事項は、別に定める。

(試験等及び単位認定)

第10条 授業科目を履修した学生に対しては、授業総時数の3分の2以上出席した場合に限り、シラバスに記載された方法で試験その他の大学が定める適切な方法(以下「試験等」という。)により学修の成果を評価して、合格した者には、単位を認定する。

2 試験等及び認定単位に関し必要な事項は、別に定める。

3 学則第44条の2の規定により、共同獣医学部共同獣医学科の学生が、山口大学が開設する共同教育課程に係る授業科目の履修により修得した単位は、本学の教育課程において修得したものとみなすものとする。

(GPA制度による成績評価)

第10条の2 共通教育科目の成績評価は、グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。)制度により行い、シラバスに記載された学習目標と評価基準及び方法に基づき、学習達成度を評価する。

2 各学期、1年間及び入学後のGPAはそれぞれ、学期GPA、年間GPA及び通算GPAと称する。

3 各科目の学習達成度のGPの値及びGPAの算出方法は、別表第3のとおりとする。

4 履修登録確定後に放棄した科目の評価は不合格とし、成績原簿に記録する。

5 GPA制度に基づき、成績優秀者に対する表彰及び成績不振者に対する助言・指導を行う。

6 前項の表彰及び助言・指導に関し必要な事項は、別に定める。

(1年次入学前の既修得単位の認定)

第11条 本学入学前に他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学における共通教育の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学入学前に行った大学の専攻科、短期大学の専攻科、高等専門学校専攻科又は高等専門学校の課程における学修について、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、共通教育科目及び専門教育科目の単位について学則第45条に規定する単位と合わせて60単位を超えないものとする。

4 単位の認定方法等については、別に定める。

5 編入学、転学等における共通教育科目の既修得単位の認定については、各学部において定める。

(技能審査合格者等の単位認定)

第12条 本学が認定した技能審査等に合格又は一定の成績を修めた各学部(共同獣医学部共同獣医学科を除く。)の学生について、教育上有益と認めるときは、当該技能審査等の成果を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の本学が認定した技能審査等及び単位の認定方法等に関し必要な事項は、別に定める。

- 3 第1項の規定により履修とみなし、与えることができる単位数は、前条第3項に規定する単位数に含めるものとする。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第8条の2、第9条第4項ただし書き、第9条の2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生は、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する農学部獣医学科の学生については、改正後の規則(第9条を除く。)にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第8条第1号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第6条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において在学する者については、改正後の第3条第1項、第10条の2第3項、別表第3及び別表第4の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第12条第2項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第3条第1項別表第1及び別表第2、第8条、第10条第3項、第12条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する者については、改正後の第3条第1項別表第1及び別表第3、第8条、第10条の2第3項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

#### 別表第1(第3条関係)

法文学部、教育学部、理学部、医学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部、共同獣医学部畜産学科

大分類	中分類	小分類
初年次教育科目群	必修	学術基礎 体育・健康科学 情報活用
学際教育科目群	必修	大学と地域
	選択必修	地域志向 発展・実践
グローバル教育科目群	必修	英語
		日本語
		日本事情
	選択必修	初修外国語 国際教養
自然科学科目群	選択必修	教養自然科学 基礎自然科学
人文社会科学科目群	選択必修	教養人文社会科学
個別最適化科目		
卒業要件外科目		学芸員資格

備考1：学術基礎は、原則として一般学生を対象とする。

備考2：日本語・日本事情は、原則として外国人留学生を対象とする。

備考3：個別最適化科目は、科目群によらずすべての選択科目の中から自由に選択できる。

#### 別表第2(第3条関係)

共同獣医学部共同獣医学科

共通教育科目	一般教養教育科目
	体育・健康科目
	初期教育科目
	外国語科目

備考：共同獣医学部規則別表第1に規定する履修課程表にない共通教育科目の授業科目を履修し、修得した単位は、自由単位とする。

別表第3 (第10条の2関係)

項目	学習達成度	評語	GPの値
成績評価及び評語	90%以上	A	4点
	80%以上90%未満	B	3点
	70%以上80%未満	C	2点
	60%以上70%未満	D	1点
	60%未満	F	0点
単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価	認定	P	
GPAの算出方法	(学期・年間・通算) $GPA = (4 \times n_A + 3 \times n_B + 2 \times n_C + 1 \times n_D + 0 \times n_F) / (n_A + n_B + n_C + n_D + n_F)$ 注) $n_A$ 、 $n_B$ 、 $n_C$ 、 $n_D$ 、 $n_F$ は、それぞれ当該期間に履修した科目のA、B、C、D、Fに対応する総単位数とする。		

## 鹿児島大学共通教育科目試験等規則

平成16年4月1日

規則第142号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目履修規則(平成16年規則第115号)第10条第2項の規定に基づき、試験等に関し必要な事項を定めるものとする。

(試験等の受験資格)

第2条 試験等は、授業科目の授業総時数の3分の2以上出席した場合に限り、受験することができる。ただし、授業総時数の3分の2以上出席していない場合であっても、担当教員が特に必要と認めたときは、補講を受講した上で受験することができるものとする。

(単位の認定)

第3条 授業科目を履修した学生に対しては、シラバスに記載された学習目標の達成度を評価するため、当該科目の成績評価基準に基づき試験等を行い、合格した者に単位を認定する。

(方法)

第4条 試験等は、筆記試験、小テスト、レポート、実技及び作品等の方法により総合的に行う。

(成績の評価)

第5条 成績の評価は、評点又は評語をもって表し、可否の認定は、次の基準によるものとする。ただし、成績の報告は評点で行う。

学習達成度	評点	評語	認定
90%以上	100点～90点	A	合格
80%以上90%未満	89点～80点	B	合格
70%以上80%未満	79点～70点	C	合格
60%以上70%未満	69点～60点	D	合格
60%未満	59点～0点	F	不合格

単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価は、P(認定)の評語で表す。

(発表)

第6条 試験等の結果は、成績通知表によって発表する。

(追試験等)

第7条 やむを得ない事情によって試験等を受験できなかった者に対して、追試験等を行うことがある。

2 追試験等を受けようとする者は、担当教員の承認を得て追試験願を提出しなければならない。

(再試験等)

第8条 試験等の結果、合格しなかった者に対して再試験等を行うことがある。

- 2 再試験等を受験できる者は、成績通知表等により通知するものとする。
- 3 再試験等においては、70点以上の成績は認定しない。
- 4 再試験等の成績判定は、当該授業科目が行われた学期の次の学期に行う。ただし、再試験等に合格した場合の単位は、当該授業科目が行われた学期の単位として認定する。

(不正行為の措置)

第9条 試験等の際、不正行為の事実が確認された場合、原則として、当該期の共通教育科目の全受験科目を不合格(0点)とする措置をとる。

- 2 前項の不正行為を行った者については、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号)第60条の規定により当該学部教授会の議を経て、学長が懲戒することがある。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第5条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、在学する学生は、改正後の第5条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成21年12月24日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、なお従前の例による。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

## 鹿児島大学共通教育センター科目等履修生に関する細則

平成29年5月12日

総機細則第1号

(趣旨)

第1条 この細則は、鹿児島大学科目等履修生規則(平成16年規則第112号)第11条の規定に基づき、共通教育科目を受講する科目等履修生(以下「履修生」という。)について必要な事項を定める。

(資格)

第2条 共通教育科目の履修を志願する者の資格は、鹿児島大学学則(平成16年規則第86号)第30条の規定を準用する。

(出願方法)

第3条 共通教育科目の履修を志願する者は、次に掲げる書類を添えて共通教育センター長に願い出なければならない。

- (1) 願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終学校の卒業証明書及び成績証明書
- (4) その他共通教育センターが必要と認めた書類

2 外国人の場合は、前項各号に掲げる書類のほか、旅券の写又は在留カードを提出しなければならない。

(出願期日)

第4条 出願は、共通教育センターの指定する期日までに行わなければならない。

(受入許可)

第5条 履修生の受入許可は、当該授業科目の担当教員の内諾を得た後、共通教育センター運営委員会の議を経て、共通教育センター長が行う。

(履修期間)

第6条 履修期間は、履修を許可された当該授業科目の開設期間とし、引き続き履修を志願する者は、その都度手続きを更新するものとする。

(単位の認定)

第7条 履修した授業科目については、別に定めるところにより試験を受けることができる。

2 前項の試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

附 則

この細則は、平成29年5月12日から施行する。

附 則

この細則は、令和4年4月7日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

鹿児島大学共通教育科目既修得単位認定規則

平成16年4月1日  
規則第143号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目履修規則(平成16年規則第115号)第11条第4項の規定に基づき、1年次入学前の既修得単位の認定について必要な事項を定める。

(申請期間)

第2条 本学に入学した年度に限り、入学前の既修得単位の認定を願い出ることができ  
る。

(認定方法)

第3条 認定方法は、別表のとおりとする。ただし、卒業要件単位数を超えないものとする。

(認定の手続)

第4条 認定を希望する者は、認定願及び成績証明書等を所定の期日までに共通教育センター長に提出しなければならない。

- 2 認定願及び成績証明書等の提出日は、入学年度の4月1日及び共通教育センター長が定める7月の所定の期日とする。ただし、4月1日が日曜日若しくは土曜日又は国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この項において「日曜日等」という。)に当たる場合は、当該日の直後の日曜日等でない日とする。
- 3 単位の認定は、申請者の所属学部で内容の確認を行い、共通教育センター運営委員会の議を経て共通教育センター長が行う。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和4年4月28日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

## 別表（第3条関係）

## 1年次入学前の既修得単位の認定方法（法文学部・教育学部・理学部・医学部・歯学部・工学部・農学部・水産学部・共同獣医学部）

科目枠組	初年次教育科目群						学際教育科目群			グローバル教育科目群				自然科学科目群		人文社会科学科目群	
	必修						必修	選択必修		必修			選択必修	選択必修	選択必修		
	学術基礎		体育・健康科学 (理論)	体育・健康科学 (実習)	情報活用		大学と地域	地域志向	発展・実践	英語	日本語	日本事情	選択必修		教養自然科学	基礎自然科学	教養人文社会科学
	学び合いの技法	学術レポートの基礎			情報活用Ⅰ	情報活用Ⅱ							(初級・中級・入門)	国際教養			
学部	認定方法（認定できる上限単位数）																
法文学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位	4単位		
教育学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
理学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
医学部	医学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	2単位	4単位		
	保健学科 (看護)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		
	保健学科 (理学療法・作業療法)	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	8単位	4単位		
歯学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
工学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
農学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
国際食料資源学特別コース	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	2単位	6単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位			
水産学部	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	6単位	6単位	2単位	4単位	6単位	2単位			
共同獣医学部	共同獣医学科	認定しない	認定しない	1単位	1単位	認定しない	認定しない	2単位	2単位	認定しない	-	-	認定しない	認定しない	2単位		
	畜産学科	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	1単位	2単位	4単位	4単位	6単位	2単位	4単位	4単位	4単位		

## 備考

- 1 各科目群における必修及び選択必修の卒業要件単位数を超えて認定することはできない。
- 2 既修得単位数を個別最適化科目の単位数として認定することはできない。
- 3 本学において修得した共通教育の単位数を、共通教育科目の既修得単位数として認定する場合は、各学部の判断で、上記表に掲げる認定単位数を超えて認めることができる。
- 4 教育職員免許状取得のために科目名(日本国憲法、体育・健康科学理論、体育・健康科学実習、英語Ⅰ(LS)、英語Ⅱ(RW)、情報活用Ⅰ、情報活用Ⅱ)を特定する必要がある場合、又は卒業要件を満たすために科目名を特定する必要がある場合を除き、科目名は特定しない。
- 5 卒業要件外科目(学芸員資格科目)の単位認定は行わない。
- 6 他大学の高等接続科目等履修制度により修得した科目(先取り履修科目)の単位認定は行わない。

鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群における技能審査合格者等の単位認定規則

平成16年4月1日

規則第144号

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学共通教育科目等履修規則(平成16年規則第115号)第12条第2項の規定に基づき、技能審査合格者等の単位認定について必要な事項を定める。

(申請)

第2条 単位の認定を受けようとする者は、所定の申請書に検定試験合格証書等の必要書類を添えて共通教育センター長に提出しなければならない。

2 申請できる単位数は、英語は最大6単位まで、英語以外の外国語は最大4単位までとする。

3 同一の級位又は得点を用いて複数回申請することはできない。

4 申請者が同一言語に係る複数の技能審査等の資格又は成績を有している場合、級位又は得点が同等のものを複数用いて申請することはできない。

5 技能審査等の資格又は成績は、申請期間の開始日において、取得した日から2年を経過しないものを有効とする。

6 申請期間は、原則として前期は4月1日から4月20日まで、後期は10月1日から10月20日までとする。

(認定基準)

第3条 単位認定のための認定基準については、共通教育センター運営委員会が別に定める。

(単位認定)

第4条 単位の認定は、共通教育センター英語教育部門会議又は初修外国語教育部門会議の議を経て共通教育センター運営委員会が行う。

2 単位を認定された者の成績は「認定」とする。

3 認定の結果は、申請者に通知する。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

2 この規則の施行日の前日において在学する学生は、改正後の第3条第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生に対しては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第3項の規定に関わらず、なお従前の例による。

附 則

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条及び第3条第5項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成30年4月26日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和2年11月26日から施行し、令和2年10月1日から適用する。

附 則

この規則は、令和3年9月22日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において在学する学生については、改正後の第2条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

○鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群に係る技能審査等の認定基準に関する  
申合せ

令和3年7月16日

共通教育センター運営委員会決定

令和6年9月20日一部改正

令和8年2月20日一部改正

令和8年4月1日実施

第1 鹿児島大学共通教育グローバル教育科目群及び教養基礎科目群における技能審査合格者等の単位認定規則(規則第144号)第3条に定める各技能審査等の認定基準は次のとおりとする。

言語	技能審査等の名称		級位又は得点	認定単位
英語	実用英語技能検定	英検(従来型)	a. 1級	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. 準1級	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
		英検CBT及び英検S-CBT	b. 準1級	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
	TOEIC L&R/TOEIC S&W (TOEIC L&Rに関して、IPテストを含む) ※4技能(聞く、話す、読む、書く)試験		a. 1305～1390点 L&R 945点～ S&W 360点～	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
			b. 1095～1300点 L&R 785点～ S&W 310点～	4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
	TOEFL(iBT)		a. バンドスコア5～6 各セクションスコア R:24～、L:22～ W:24～、S:25～	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))
b. バンドスコア4～4.5 各セクションスコア R:18～、L:17～ W:17～、S:20～			4単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))	
IELTS		a. オーバーオール・バンドスコア7.0～8.0点 各パート7.0点以上	6単位以内(英語I(LS)・英語II(RW)・英語III(LSRW))	

		b. オーバーオール・バンド・スコア5.5～6.5点 各パート5.5点以上	4単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
	ケンブリッジ英語検定	a. CAE(180—199点)	6単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
		b. FCE(160—179点)	4単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
独語	ドイツ語技能検定試験	a. 3級から1級	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 4級	2単位(初級独語Ⅰ)
	ゲーテ・インスティトゥート検定試験	a. SD 2 (A2)からGDS (C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. SD 1 (A1)	2単位(初級独語Ⅰ)
	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	a. GD 2 (A2)からWD (C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)
		b. GD 1 (A1)	2単位(初級独語Ⅰ)
テスト・ダフ(TestDaF)	a. TDN 3 (B2)からTDN 5 (C2)	4単位又は2単位(初級独語Ⅰ・Ⅱ)	
仏語	実用フランス語技能検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 5級	2単位(初級仏語Ⅰ)
	フランス国民教育省・フランス語学力テスト(TCF)	a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
	フランス国民教育省・フランス語学力資格試験(DELF/DALF)	a. A2、B1、B2、C1、C2	4単位又は2単位(初級仏語Ⅰ・Ⅱ)
		b. A1	2単位(初級仏語Ⅰ)
中国語	中国語検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 準4級	2単位(初級中国語Ⅰ)
	漢語水平考試(HSK)	a. 3級から9級	4単位又は2単位(初級中国語Ⅰ・Ⅱ)
		b. 1級、2級	2単位(初級中国語Ⅰ)
韓国語	ハングル能力検定試験	a. 4級から1級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)

韓国語能力試験	b. 5級	2単位(初級韓国語Ⅰ)
	a. 2級から6級	4単位又は2単位(初級韓国語Ⅰ・Ⅱ)
	b. 1級	2単位(初級韓国語Ⅰ)

※ 級位又は得点欄に付されている記号(a. b. )は、同じ記号であれば級位又は得点が同一であるとみなす。

第2 第1の規定に関わらず、技能審査等を実施する団体が諸般の事情により暫定的な方法で技能審査等を実施した場合には、これに対応した一時的な認定基準を設けることができるものとする。

附 記

- 1 この申合せは、令和3年9月22日から実施する。
- 2 この申合せの規定に関わらず、令和2年度以前に入学した学生に係る第1の規定は、なお従前の例による。

附 記

この申合せは、令和6年9月20日から実施する。

附 記

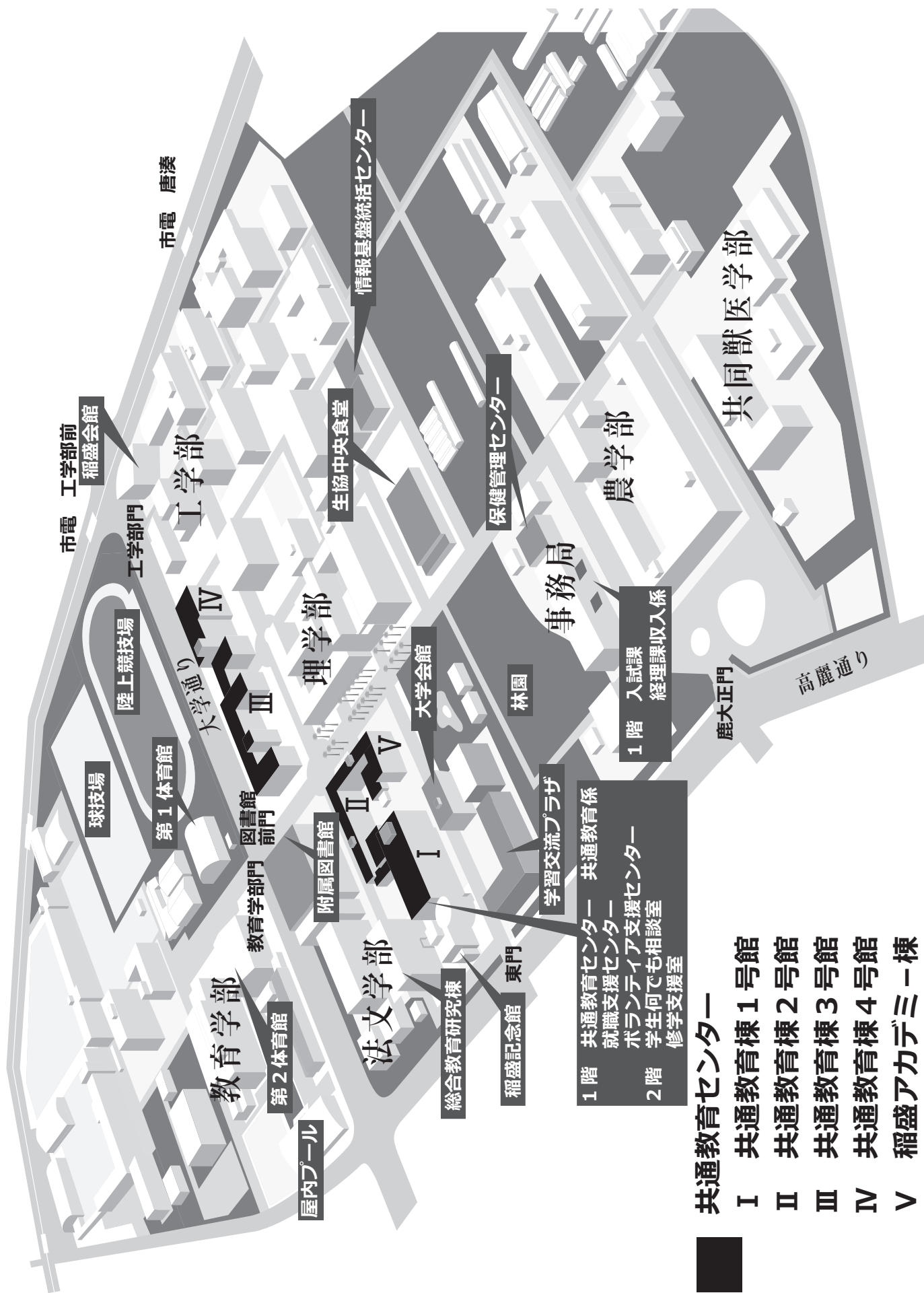
- 1 この申合せは、令和8年4月1日から実施する。
- 2 令和7年度以前に入学した学生については、改正後の第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 第1の英語 TOEFL(iBT)において、令和8年度以降の入学生が令和8年1月21日変更前のスコアレポート(以下「旧基準」という。)を提出する場合又は令和7年度以前に入学した学生が令和8年1月21日変更後のスコアレポート(以下「新基準」という。)を提出する場合の認定基準は、改正後の第1及び前項の規定にかかわらず、以下のとおりとする。

令和8年度以降に入学し、TOEFL(iBT)旧基準のスコアレポートを以て申請した場合

言語	技能審査等の名称	級位又は得点	認定単位
英語	TOEFL(iBT)	a. トータルスコア95～120点 各セクションスコア22点以上	6単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))
		b. トータルスコア72～94点 各セクションスコア17点以上	4単位以内(英語Ⅰ(LS)・英語Ⅱ(RW)・英語Ⅲ(LSRW))

令和7年度以前に入学し、TOEFL(iBT)新基準のスコアレポートを以て申請した場合

言語	技能審査等の名称	級位又は得点	認定単位
英語	TOEFL(iBT)	a. バンドスコア5～6 各セクションスコア R:24～、L:22～ W:24～、S:25～	4単位以内(英語 IA・IIA・IB・IIB)
		b. バンドスコア4～4.5 各セクションスコア R:18～、L:17～ W:17～、S:20～	2単位以内(英語 IA・IIA・IB・IIB)



共通教育センター

- I 共通教育棟 1号館
- II 共通教育棟 2号館
- III 共通教育棟 3号館
- IV 共通教育棟 4号館
- V 稲盛アカデミー棟

1階 共通教育センター 共通教育係  
就職支援センター  
ボランティア支援センター  
学生何でも相談室  
2階 入試課  
経理課収入係

学習交流プラザ

稲盛記念館 東門

総合教育研究棟

屋内プール

第2体育館

教育学部

教育学部前

附属図書館

図書館前門

第1体育館

球技場

陸上競技場

工学部前

工学部門

稲盛会館

市電 唐湊

情報基盤統括センター

生協中央食堂

保健管理センター

農学部

共同獣医学部

事務局

林園

大会館

理学部

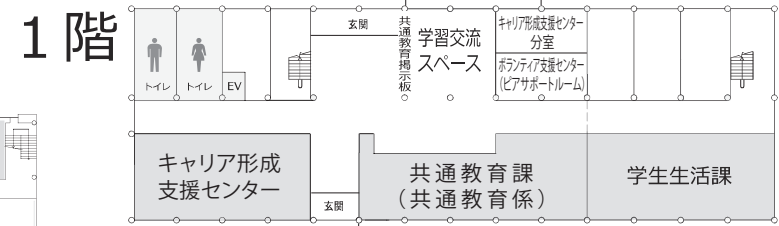
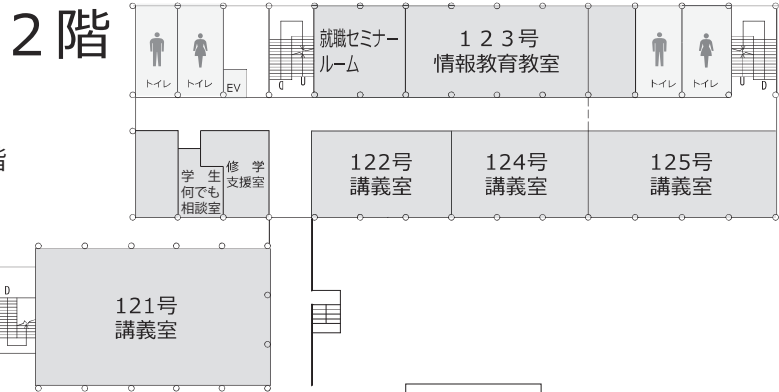
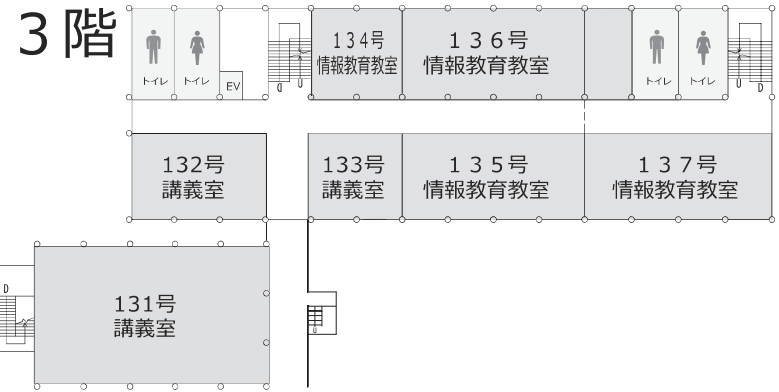
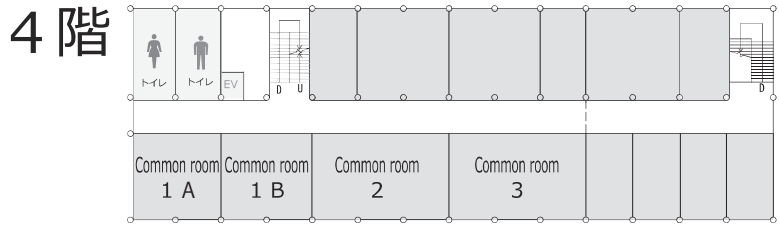
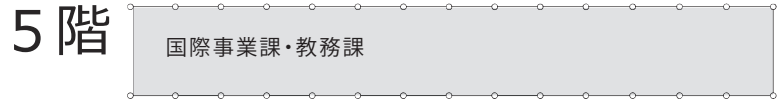
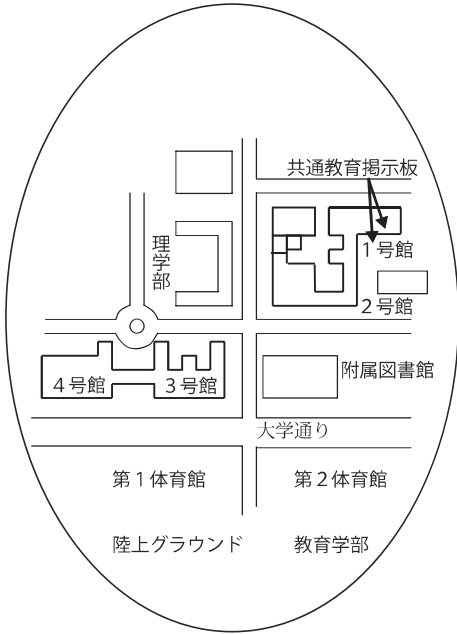
大学通り

工学部

高麗通り

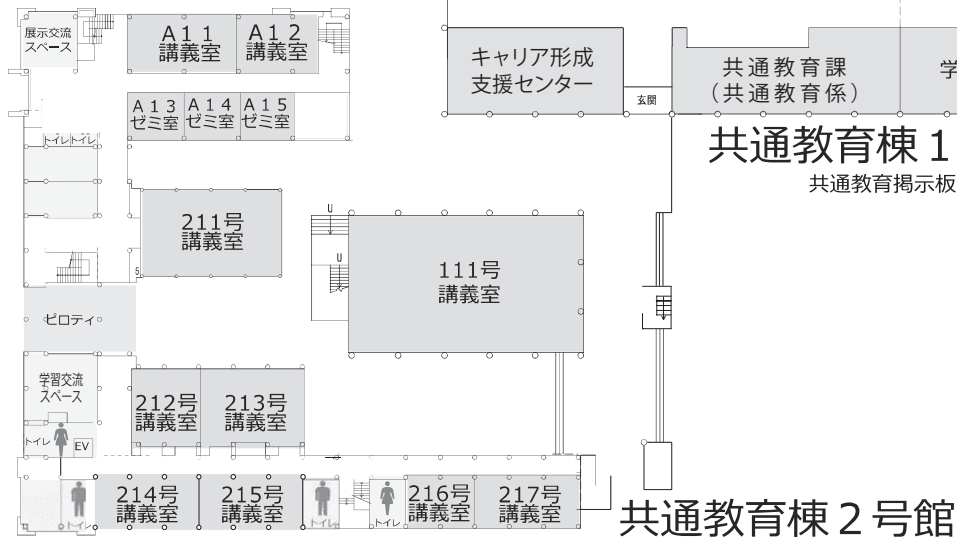
鹿大正門

# 鹿児島大学共通教育棟配置図



## 稲盛アカデミー

理学部



講義室の名称について  
(例) 125号講義室 共通教育棟1号館2階  
1は共通教育棟の1号館、2は階数です。



# 共 通 教 育 科 目 時 間 割 表





令和8年度入学生 授業時間割 [1期(第2ターム):2026年6月~2026年8月]

学期	立文学部			教育学部			工学部			理学部			水産学部			医学部			歯学部				
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3		
月	9:50~10:20	体育・健康科学実習		基礎情報科学Ⅰ	基礎情報科学Ⅱ	基礎情報科学Ⅲ	基礎情報科学Ⅳ	基礎情報科学Ⅴ	基礎情報科学Ⅵ	基礎情報科学Ⅶ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	基礎情報科学Ⅷ	
	10:30~12:00	体育・健康科学実習	学術レポートの基礎	英語Ⅰ(LS)																			
	14:30~16:00		学術レポートの基礎																				
	16:10~17:40	初修外国語、国際教養		初修外国語、国際教養																			
	9:50~10:20		初修外国語、国際教養																				
火	10:30~12:00		英語Ⅰ(LS)																				
	14:30~16:00																						
	16:10~17:40																						
	9:50~10:20	教養自然科学Ⅱ		教養自然科学Ⅱ																			
	10:30~12:00	教養自然科学Ⅱ		教養自然科学Ⅱ																			
水	12:50~14:20		学術レポートの基礎																				
	14:30~16:00																						
	16:10~17:40																						
	9:50~10:20	教養自然科学Ⅱ		教養自然科学Ⅱ																			
	10:30~12:00	教養自然科学Ⅱ		教養自然科学Ⅱ																			
木	12:50~14:20		学術レポートの基礎																				
	14:30~16:00																						
	16:10~17:40																						
	9:50~10:20	初修外国語、国際教養		初修外国語、国際教養																			
	10:30~12:00	初修外国語、国際教養		初修外国語、国際教養																			
金	12:50~14:20		学術レポートの基礎																				
	14:30~16:00																						
	16:10~17:40																						
	9:50~10:20	学際教育、日本語Ⅰ		学際教育、日本語Ⅰ																			
	10:30~12:00	学際教育		学際教育																			







令和8年度入学生 授業時間割【4期(第3～4ターム):2027年10月～2028年3月】

組 学号	5次学級		初級学級				工学部				理学部		水産学部		農学部		医学部		歯学部		共同医歯学部	
	1 (法 経法 学 士 学 位 学 科)	2 (法 経法 学 士 学 位 学 科)	3 (人 文 学 部 学 科)	1 初 等 教 育 学 科	2 国 中 社 会 学 科	3 英 中 語 学 科	4 英 中 語 学 科	1 初 等 教 育 学 科	2 国 中 社 会 学 科	3 英 中 語 学 科	4 英 中 語 学 科	1 理 学 部 理 学 科	1 水 産 学 部 水 産 学 科	2 水 産 学 部 水 産 学 科	1 農 学 部 農 学 科	2 農 学 部 農 学 科	1 医 学 部 医 学 科	2 医 学 部 医 学 科	1 歯 学 部 歯 学 科	2 歯 学 部 歯 学 科	1 共 同 医 歯 学 部 医 学 科	2 共 同 医 歯 学 部 歯 学 科
1 8:50 ～ 10:20																						
2 10:30 ～ 12:00																						
3 12:50 ～ 14:20																						
4 14:30 ～ 16:00																						
5 16:10 ～ 17:40																						
1 8:50 ～ 10:20																						
2 10:30 ～ 12:00																						
3 12:50 ～ 14:20																						
4 14:30 ～ 16:00																						
5 16:10 ～ 17:40																						
1 8:50 ～ 10:20																						
2 10:30 ～ 12:00																						
3 12:50 ～ 14:20																						
4 14:30 ～ 16:00																						
5 16:10 ～ 17:40																						
1 8:50 ～ 10:20																						
2 10:30 ～ 12:00																						
3 12:50 ～ 14:20																						
4 14:30 ～ 16:00																						
5 16:10 ～ 17:40																						
1 8:50 ～ 10:20																						
2 10:30 ～ 12:00																						
3 12:50 ～ 14:20																						
4 14:30 ～ 16:00																						
5 16:10 ～ 17:40																						

_____年度(前・後)期

## 履修申請表(ワークシート)

学部・学科	
学籍番号	
氏名	

履修申請 単位数の合計	単位
----------------	----

	月	火	水	木	金
1 限	時間割コード □□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	科目名 ( )	( )	( )	( )	( )
	担当教員・授業教室				
2 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
3 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
4 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )
5 限	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□	□□□□
	( )	( )	( )	( )	( )

※( )内は、単位数を記入してください。

学 部	学 科 等	組	学 籍 番 号	氏 名